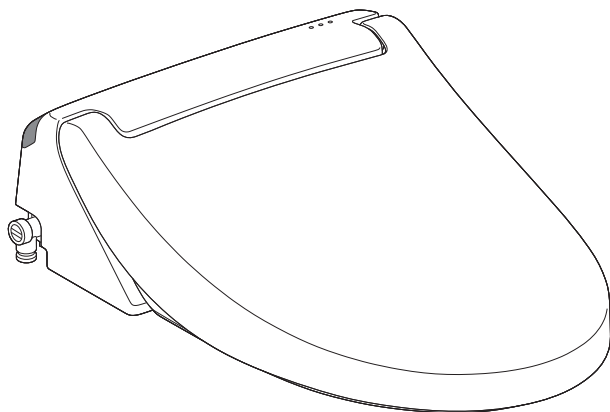




KAシリーズ

CW-KA32型 ,CW-KA31型

取扱説明書



このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

万が一の事故を未然に防ぎ、安全に、快適にお使いいただくために、
必ずこの「取扱説明書」をよくご覧ください。

お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

取扱説明書でご案内するWEB・動画の閲覧について

※1 通信料はお客さまのご負担となります。 ※2 お使いの環境/端末により閲覧できない場合があります。

安全上のご注意・必ずお守りください

3～7ページに示した警告と注意は、状況によって重大な事故に結びつく恐れがあります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

工事店様へ 貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。

保証書別添

WEB取扱説明書のご案内

パソコンやスマートフォンで、
使い方やお手入れなど、動画や
アニメーションでわかりやすく
ご覧いただけます。



<https://s.lixil.com/ka3>

もくじ

はじめに

安全上のご注意	3
使用上のご注意	7
ご使用前の準備と確認	10
機能の紹介	14

使い方

使い方ガイド	16
便座の温度を変える	18
おしりを洗う	18
おしりを乾かす	21
便器を濡らす	21
水を流す	22
脱臭する	23
節電する	24
好みの設定にする	26

お手入れ

お手入れガイド	27
お手入れの準備をする	28
プラスチック部分のお手入れ	28
隠れた部分のお手入れ	30
ノズルのお手入れ	32
ノズルシャッターのお手入れ	35
脱臭カートリッジのお手入れ	36
ストレーナーのお手入れ	38

こんなときは

凍結しそうなとき	39
長期間使用しないとき	42
引っ越しなどで本体を移設するとき	43
リモコンの電池が切れたとき	46
フルオート便器洗浄ユニット(本体)を取り付けるとき	47
洗浄水が流れない・流れたままのとき	47

修理を依頼する前に

よくあるお問い合わせ	51
------------	----

アフターサービス

製品の長期使用について	57
点検・交換をする	59
修理を依頼する	63
保証を延長する	64

仕様	65
----	----

機能/性能について	66
-----------	----

各種お問い合わせ窓口	裏表紙
------------	-----

基本的な使い方

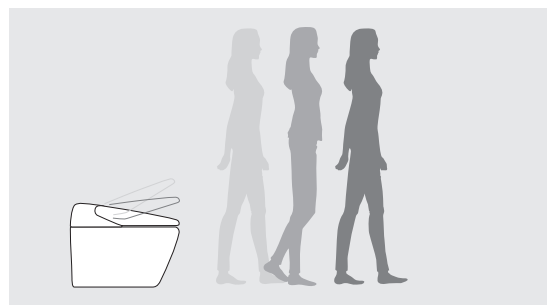
1 便座に座る

おしりを洗う	18
おしりを乾かす	21



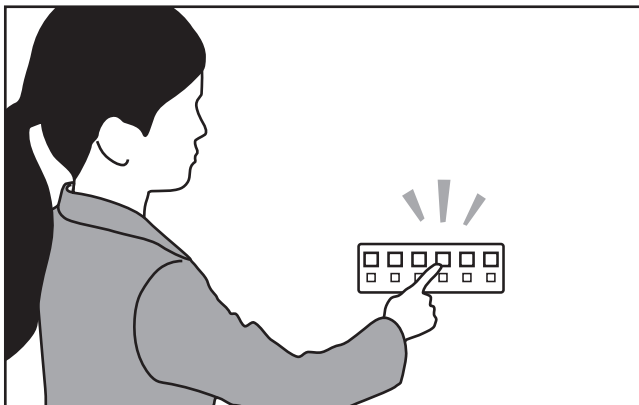
2 立ち上がる、立ち去る

便器を濡らす	21
水を流す	22
節電する	24



何が知りたいですか？

使い方がわからない



各部の名称……………	10
機能の紹介……………	14
使い方ガイド……………	16
お好みの設定に……………	26

お手入れのしかた



お手入れの場所と汚れの種類……………	27
お手入れに必要な道具……………	28
洗剤について……………	28
お掃除グッズの購入……………	62

困ったとき



凍結しそう……………	39
長期間使用しない……………	42
リモコンの電池を交換したい……………	46
よくあるお問い合わせ……………	51
修理を依頼する……………	63

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

✂ 補足 | ・トイレ本体各部の名称 (P. 10 ページ)

表示と意味



警告

死亡または重傷を負う恐れがある内容です。



注意

傷害や物的損害が発生する恐れがある内容です。



必ず実行していただく「指示実行」の記号です。



してはいけない「禁止」の記号です。



警告

■故障したとき

故障とは

異音 / 異臭 / 発煙 / 高温 / 割れ / 漏水



- ・コンセントから電源プラグを抜く
 - ・止水栓を閉める
 - ・修理・交換を依頼する
- (破損・けが・感電・火災の恐れ)



- ・故障したまま使用しない
- (けが・感電・火災・漏水の恐れ)

■設置・お手入れ・ご使用時



- ・電源プラグを抜き差しする場合は、電源プラグ本体を持つ
 - ・電源プラグは根元まで差し込む
 - ・電源プラグは定期的にコンセントから抜き、乾いた布でホコリを拭き取る
 - ・コンセントは次のものを使用する
 - ・アースターミナル付接地極付
 - ・ガタつきがない
 - ・アース線をコンセントのアースターミナルに接続する
 - ・AC100V で使用する
- (破損・感電・火災の原因)
- ・シャワートイレ本体や給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉める
- (感電・火災・室内浸水の恐れ)
- ・シャワートイレ本体や電源プラグのお手入れ・お掃除で洗剤・薬品(消毒薬・除菌薬)使用した場合は、薬剤除去のため必ず水拭きをする
- (破損・金属部品の腐食・劣化・感電・発煙・火災の原因)



- ・電源プラグは濡れた手で触れない
 - ・水や洗剤をかけない
 - ・電源プラグはタコ足配線をしない
 - ・雷が発生しているときは触れない
- (感電・火災の原因)

安全上のご注意



- ・電源コードに次のことをしない
 - ・キズを付ける
 - ・破損する
 - ・加工する
 - ・無理に曲げる
 - ・引っ張る
 - ・ねじる
 - ・束ねる
 - ・重いものを載せる
 - ・挟み込む(破損・感電・火災の原因)
- ・シャワートイレ本体や、電源プラグに水や洗剤・薬品（消毒薬・除菌薬）を直接かけない
- ・消毒液や除菌剤の日常的な使用は控える
(破損・金属部品の腐食・劣化・感電・発煙・火災の原因)

■ご使用時



- ・化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けている方は、使用に際し医師に相談する
(身体への著しい障がいやまねく恐れ)
- ・長時間使用や、次のような方が使用する場合は、周りの方が便座温度を「切」にする
- ・温風乾燥の長時間使用や、次のような方が使用する場合は、周りの方が温風乾燥温度を「低（切）」にする
 - ・お子さま
 - ・お年寄り
 - ・病気の方
 - ・ご自分で温度調節できない方
 - ・皮膚の弱い方
 - ・睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
 - ・深酒された方
 - ・疲労が激しい方(低温ヤケドの恐れ)

■電池



- ・⊕⊖を正しく入れる
- ・次の場合は、電池を取り出す
 - ・使い切った
 - ・長期間使用しない
- ・破棄する場合は、絶縁する
(火災の原因)
- ・充電式の電池は使用しない
(破損・火災の原因)
- ・乳幼児の手の届く場所に置かない
(誤飲の原因)
→ 誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- ・電池液が身体に付着した場合は、水でよく洗い流す
- ・電池液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐにきれいな水で洗う
(失明の恐れ)
→ 処置をした後、すぐに医師に相談してください。
- ・金属製のものと一緒にはしない
- ・新しい電池と古い電池、種類の異なる電池を一緒に使用しない
- ・加熱しない
- ・分解しない
- ・水や火の中に入れない
(火災の原因)



安全上のご注意

■設置環境



- ・凍結の恐れがある場合は、凍結防止操作をする (P. 39 ページ)
(火災・室内漏水の原因)



- ・バスルームなど湿気の多い場所に設置しない
(感電・火災の原因)

■その他



- ・新築／改築工事後、水道断水の復旧後、または水抜き後に再び使用する場合は、配管内の空気を抜く
(器具・配管の破損・故障の原因
けが・財産損害の恐れ)



- ・分解／改造をしない
(感電・火災・けがの原因)

注意

■設置・お手入れ・お掃除



- ・電源プラグをコンセントから抜く
(感電の恐れ)

- ・洗剤を使用する場合は換気する
- ・洗剤で掃除した後は、便フタ・便座を開けておく
(体調不良の恐れ)

- ・本体を取り外して掃除する場合は、洗剤が残らないように水ぶきしてから本体を取り付ける
(故障の原因)



- ・プラスチック部のお手入れは、次の洗剤を使用しない
 - ・トイレ用洗剤
 - ・住宅用洗剤
 - ・漂白剤
 - ・除菌薬
 - ・ベンジン
 - ・シンナー
 - ・クレンザー
 - ・クレゾール
(破損・けが・感電・火災の恐れ)

- ・便器（陶器）のお手入れは、次の洗剤を使用しない
 - ・塩素系洗剤
 - ・酸性洗剤
 - ・消毒薬
 - ・除菌薬
(故障・破損の原因)

安全上のご注意

■止水栓・給水ホース



- ・水道水および飲用可能な井戸水に接続する
(腐食・感電・火災・皮膚の炎症の原因)
→ 飲用可能な井戸水でも水アカの付着、腐食等の発生で、修理が必要な故障が起きやすくなる場合がありますので定期的なメンテナンスが必要です。また、井戸水は環境によって変化する場合がありますので、定期的な水質検査や水質改善設備の維持管理などが必要です。

- ・ストレーナーを外す場合は、止水栓を閉める
- ・ストレーナーを外すときは、給水ホースにキズを付けない
- ・ストレーナーはすき間がないように取り付ける
- ・ストレーナーを取り付ける場合は、Oリングにゴミが付着していないことを確認する
(漏水・室内浸水の原因)
- ・クイックファスナーが給水ホースに正しくはまっていることを確認する
(漏水・室内浸水の原因)



- ・止水栓・クイックファスナーに無理な力を加えない
- ・給水ホースに次のようなことをしない
 - ・折り曲げる
 - ・つぶす
(漏水・室内浸水・破損の原因)

■トイレ本体・便器



- ・本体を取り外す時や掃除する時は、ていねいに扱う
(漏水・故障の原因)



- ・便フタや本体の上に乗らない
- ・便フタにもたれない
(破損・けがの恐れ)

- ・破損している部分に触れない
(けがの恐れ)

- ・本体は、電源を入れたまま裏返さない
(故障の原因)

■脱臭カートリッジ



- ・脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れない
(けがの恐れ)

安全上のご注意

■その他



- ・次のような方が使用する場合は、周りの方が転倒に注意する
 - ・お子さま
 - ・お年寄り
 - ・ご自分で座ることや立ち上がることができない方
(けが・破損の恐れ)
- ・長期間使用しない場合は、次の操作をする (☞ 42 ページ)
 - ・水抜き
 - ・電源プラグを抜く
(火災・室内浸水・皮膚の炎症の恐れ)
- ・定期的に水漏れがないか確認する
(財産損害の恐れ)



- ・タバコや灰皿などの火気類を近づけない
(火災の恐れ)

使用上のご注意

■お願い

■全体

- ・直射日光を当てないでください。
(変色・作動不良の原因)
- ・暖房機器を近づけないでください。
(変色・故障の原因)
- ・スプレーなどを使用する場合は、換気してください。
(光沢の消失・故障の原因)

■プラスチック部

(便フタ/便座/カバー類/リモコン)

- ・乾いた布やトイレットペーパーによる拭き取り、およびメラミンスポンジを使用しないでください。
(☞ 28 ページ)
(光沢の消失・キズの原因)
- ・トイレ用消臭剤をかけないでください。
(光沢の消失・故障の原因)

■便フタ・便座

- ・便フタ/便座の開閉は乱暴に行わないでください。
(故障・破損・漏電の原因)
- ・便フタカバー・便座カバーは取り付けないでください。
(故障・破損の原因、便フタが倒れる恐れ)

■本体

(温風乾燥付きの場合)

- ・温風の吹出口をふさがないでください。
(故障の原因)

■リモコン

- ・水や洗剤・薬品(消毒薬・除菌薬)をかけないでください。
- ・濡れた手で操作しないでください。
(故障の原因)

使用上のご注意

お願い (つづき)

■電源プラグ・コンセント

- 電源プラグをコンセントに差し直したり、電源を「入」にした場合は、10 秒程度時間をあけてください。

■雷予報が出た場合

- 雷が発生する前に電源プラグをコンセントから抜いてください。
(故障の原因)

■洗浄ハンドルが途中で止まった場合 (フルオート便器洗浄付の場合)

自動洗浄の作動中、またはリモコン便器洗浄中に停電が起きたり、故意に電源プラグを抜いたりすると、洗浄ハンドルが途中で止まります。そのままにしておくと洗浄水が流れたままになるので、以下の手順にしたがって洗浄ハンドルを元に戻してください。

- (1) 洗浄ハンドルを引っ張りながら (矢印①)、下に降ろして (矢印②) 洗浄水を止めてください。このとき洗浄ハンドルは、通常よりも少し浮いた状態になります。



- (2) 停電が終わったら、流す[大]を押してください。本体内部のモーターが作動し、洗浄ハンドルが通常の位置まで戻ります。

知っておいていただきたいこと

■電源プラグをコンセントに差し込んだとき

ノズルの初期位置設定のために、ノズルが約 15 秒間伸び出てから戻ります。

■便座の温度

便座は一定の温度に調節しています。温度は、「切(室温)」、「低(約 28℃)」～「高(約 36℃)」に切り替えることができます。

■低温やけど防止のために

着座スイッチが 1 時間以上検知し続けると暖房便座が「切」の状態になります。

■便フタ・便座の開閉

衝撃をやわらげるために、ゆっくりと閉じる「スローダウン機構」が装備されています。

■シャワーの温度

「おしり洗浄」または「ビデ洗浄」を長時間使用すると、シャワー温度がしだいに低下し、最後は水になります。温水になるまで約 10 分かかります。

■洗浄の前後や温水温度を調節したときなどに

ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

使用上のご注意

知っておいていただきたいこと (つづき)

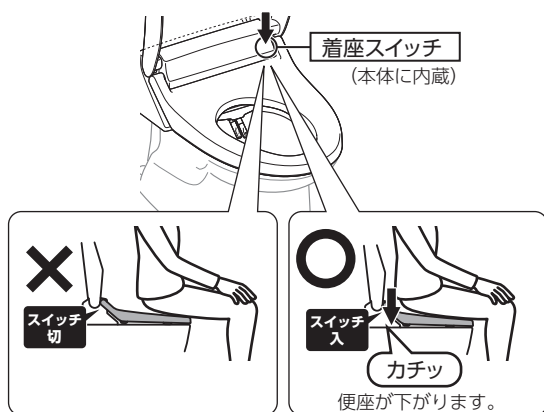
■誤操作防止のために

人が座っていない場合に、誤って操作しても作動しないように、着座スイッチが付いています。着座スイッチは、次のような場合に入らないことがあります。

- ・前にかがんだり、前寄りに座った場合
(特に幼児や児童などの身長が低い方がご使用の場合)

動画で確認

着座スイッチについて



※便座に座らないと「おしり洗浄」、「ビデ洗浄」の各機能が作動しません。

※便フタカバー・便座カバーを付けた場合、着座スイッチが入りっぱなしになったり、また入らなかったりすることがあります。

■座って小便をする場合

座る位置をずらしたり、トイレットペーパーを敷いたりすることで、はね返りを抑えることができます。

■使い始めに温風がにおう (乾燥付の場合)

新しいうちは、温風が少しにおうことがありますが、故障ではありません。ご使用とともに消えていきます。

■リモコンの電池残量

リモコンの電池表示は電池の消耗をお知らせするものです。点滅したら新しい電池に交換してください。

■ラジオやテレビに雑音が入る

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

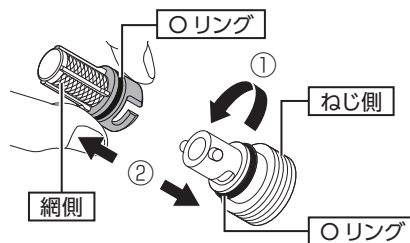
■ストレーナーの汚れがひどい場合

ストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。

※ Oリングにキズを付けないように注意してください。Oリングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。

※鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。

※網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。



■漏電が発生した場合

漏電が発生すると、事故防止のために電気を遮断します。電源プラグの「表示ランプ」が点灯します。

(※ 60 ページ)

■省エネのために

次のようにすると節電になります。

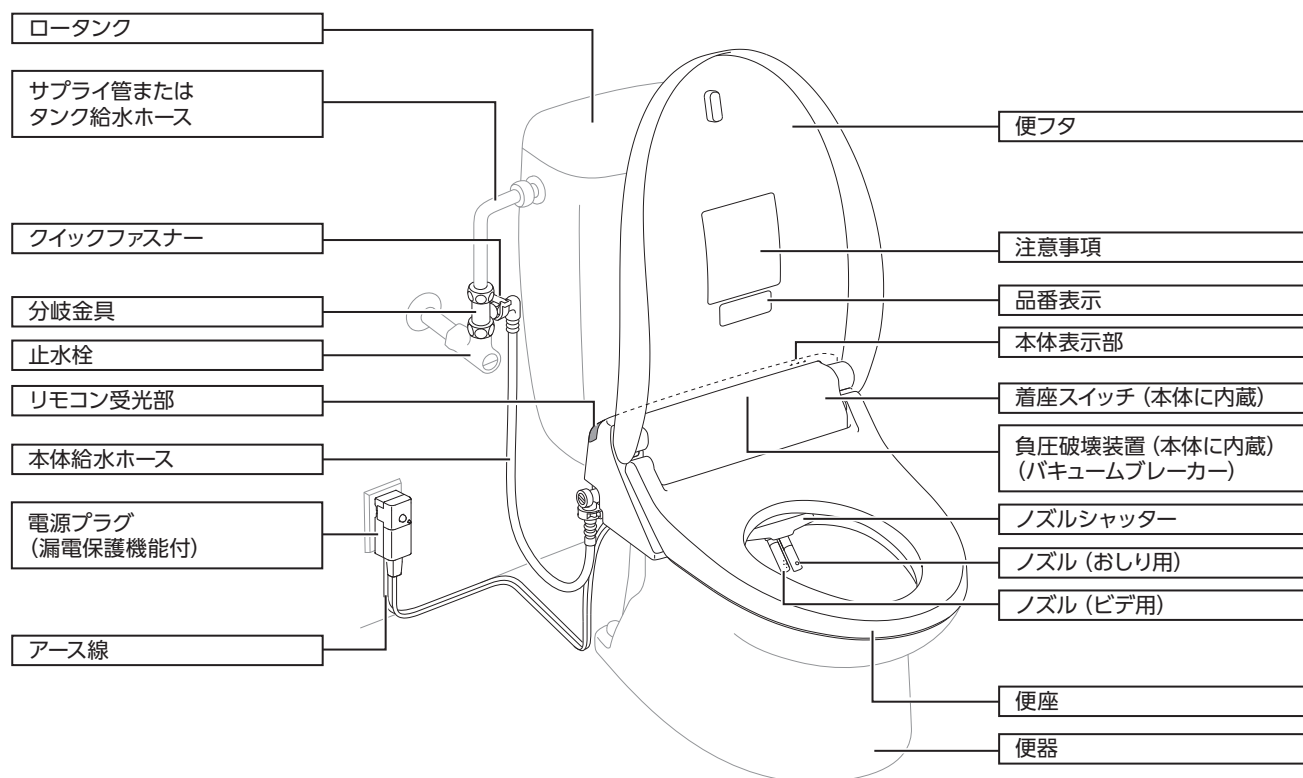
- ・使用した後は便フタを閉じる
- ・暖房便座や温水の設定を高温にしない
- ・気温に合わせてこまめに温度設定を調節する
- ・節電機能が付いている場合は利用する
- ・不在時は電源を「切」にする

ご使用前の準備と確認

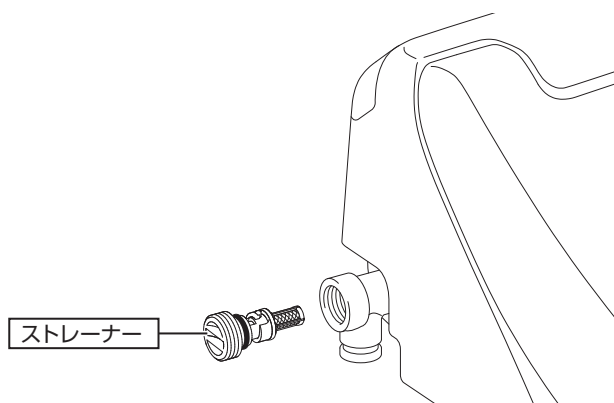
トイレ本体各部の名称

- ✎ 補足
- ・機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。
 - ・本書のトイレのイラストと実際の形状が異なる場合があります。

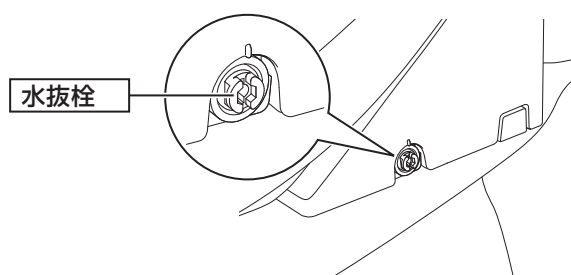
■トイレ全体



■本体左側面



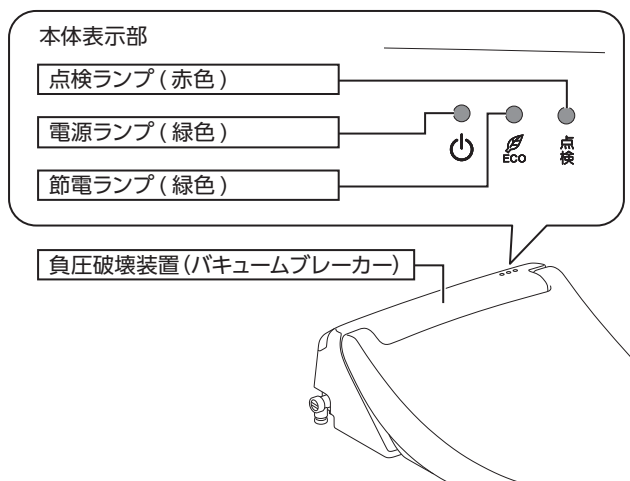
■本体右側面



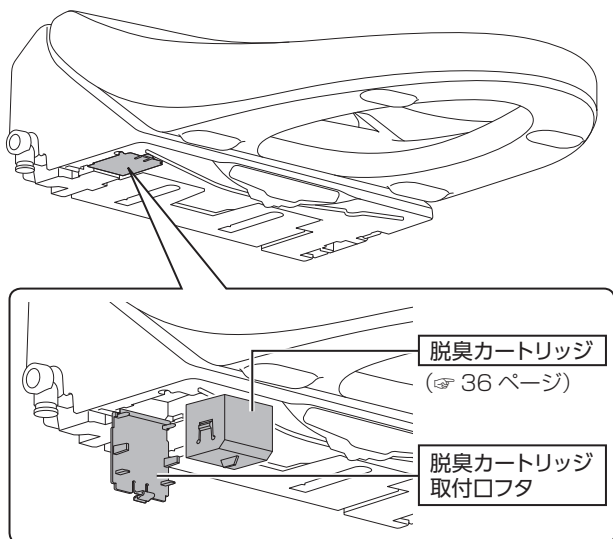
ご使用前の準備と確認

トイレ本体各部の名称 (つづき)

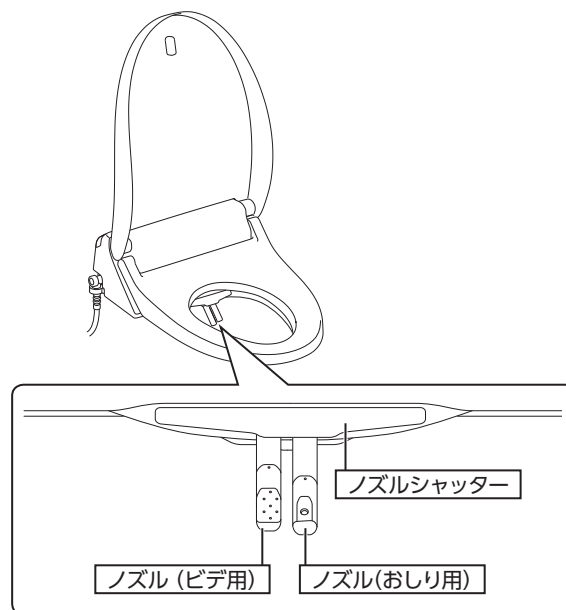
■本体右上面



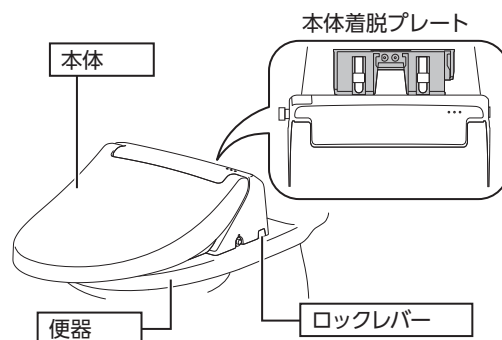
■本体底面



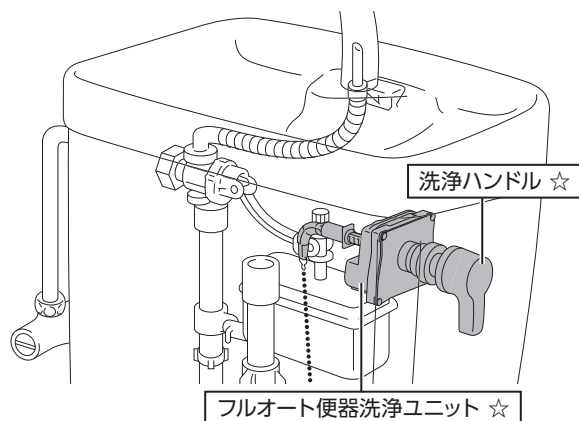
■ノズルまわり



■本体



■ロータンク部

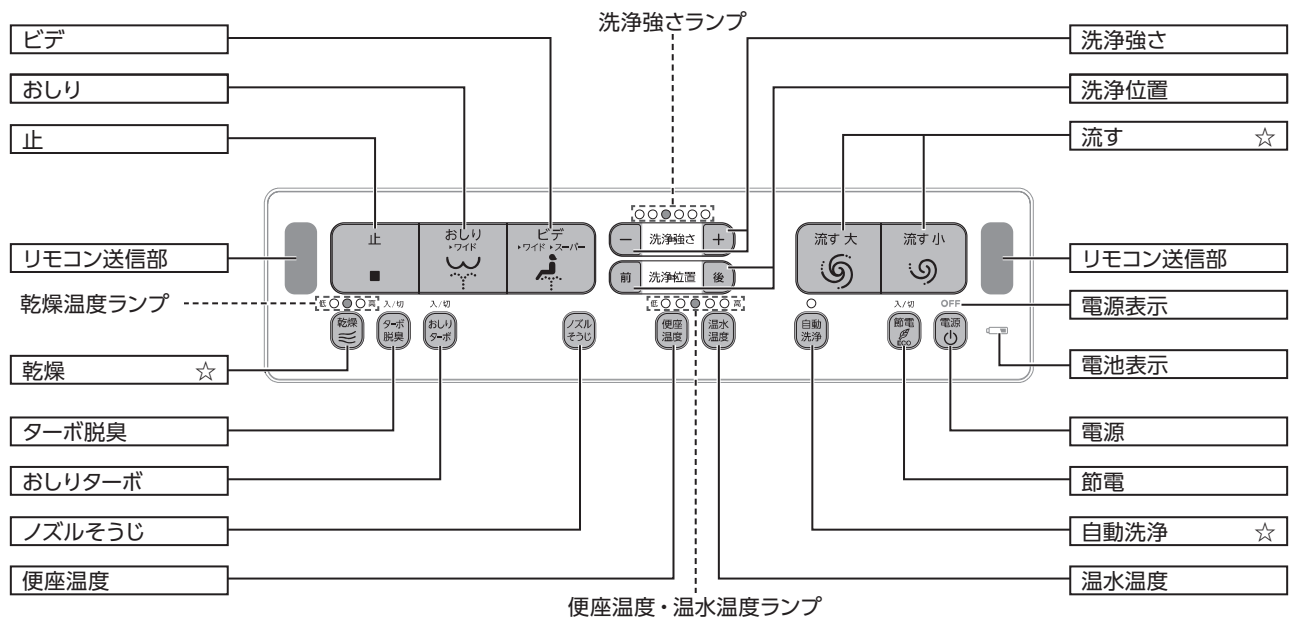


ご使用前の準備と確認

壁リモコン各部の名称

■壁リモコン

- ✎ 補足
- 機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。
 - 乾燥・温度・洗浄強さ、または自動洗浄を切り替えた場合、リモコンのランプは点灯してから数秒後に消灯します。



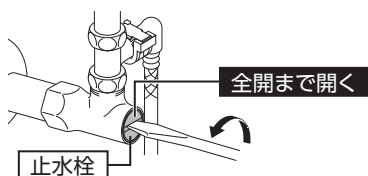
ご使用前の準備と確認

本書のリモコンボタン名称の記載がある手順は、そのボタンを押してください。

はじめてトイレをご使用になる前に

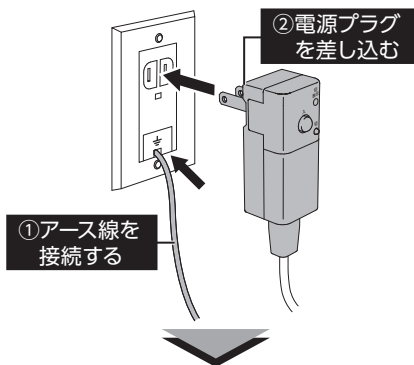
シャワートイレをはじめてご使用になる前に、準備と確認をしてください。

1 止水栓を開く



- ✎ 補足
- 止水栓の開閉ハンドルは便器への洗浄水を止めるときに使用します。必ず全開でご使用ください。

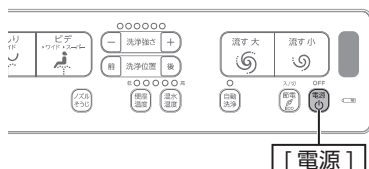
2 電源を接続する



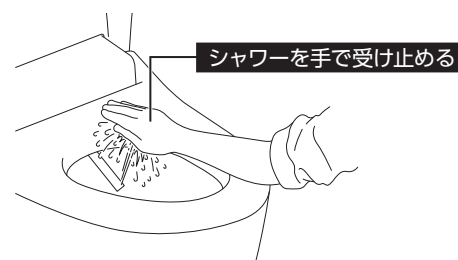
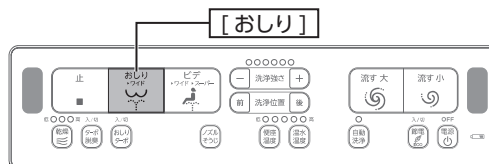
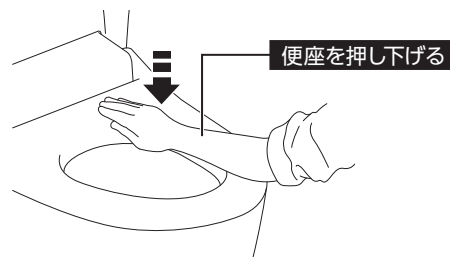
本体表示部の「電源ランプ」が緑色に点灯していることを確認する



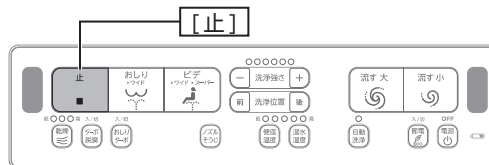
- ✎ 補足
- 点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押してください。(P. 60 ページ)
 - それでも点灯しないときは壁リモコンの「電源」を押してください。



3 シャワーが出ることを確認する



- ✎ 補足
- 温水タンクが満水でない場合、約 1 ～ 2 分かかることがあります。



4 温度を調節する

- ✎ 補足
- 便座の温度 (P. 18 ページ)
 - シャワーの温度 (P. 20 ページ)
 - 温風乾燥の温度 (P. 21 ページ)

機能の紹介

品番対応一覧

品番は、便フタ裏の品番表示（[P. 10](#) ページ）に記載されています。お持ちの機能を確認してください。
設定を変更した場合、電源プラグを抜いたり、電源ボタンを「切」にしても変更した設定は記憶されています。

✎ 補足 | 「ワンタッチ節電」は、電源プラグを抜くと設定がリセットされます。（[P. 25](#) ページ）

シリーズ名	グレード	品番
KA シリーズ	KA32A	CW-KA32AQ 型・CW-KA32A 型
	KA32	CW-KA32Q 型・CW-KA32 型
	KA31A	CW-KA31AQ 型・CW-KA31A 型
	KA31	CW-KA31Q 型・CW-KA31 型

キレイ機能

機能	初期設定	参照 ページ	品番			
			CW-KA32AQ 型 CW-KA32Q 型	CW-KA32A 型 CW-KA32 型	CW-KA31AQ 型 CW-KA31Q 型	CW-KA31A 型 CW-KA31 型
鉢内スプレー	入	21	○	○	○	○
ノズルシャッター	—	35	○	○	○	○
ノズルそうじ	—	32	○	○	○	○
ノズル先端着脱	—	33	○	○	○	○
キレイ便座	—	66	○	○	○	○
女性専用レディスノズル（ビデ）	—	20	○	○	○	○
ノズルオートクリーニング	入	32	○	○	○	○
本体スライド着脱	—	30	○	○	○	○
便フタワンタッチ着脱	—	28	○	○	○	○
抗菌樹脂（ISO 抗菌準拠）	—	66	○	○	○	○

エコ機能

機能	初期設定	参照 ページ	品番			
			CW-KA32AQ 型 CW-KA32Q 型	CW-KA32A 型 CW-KA32 型	CW-KA31AQ 型 CW-KA31Q 型	CW-KA31A 型 CW-KA31 型
スーパー節電	切	25	○	○	○	○
ワンタッチ節電（8h）	切	25	○	○	○	○
電源ボタン	—	12	○	○	○	○

機能の紹介

洗浄機能

機能	初期設定	参照 ページ	品番			
			CW-KA32AQ 型 CW-KA32Q 型	CW-KA32A 型 CW-KA32 型	CW-KA31AQ 型 CW-KA31Q 型	CW-KA31A 型 CW-KA31 型
おしり洗浄	3	19	○	○	○	○
おしりターボ洗浄	—	19	○	○	○	○
おしりワイド洗浄	—	19	○	○	○	○
ビデ洗浄	3	20	○	○	○	○
スーパーワイドビデ洗浄	—	20	○	○	○	○
ノズル位置調節	中	20	○	○	○	○

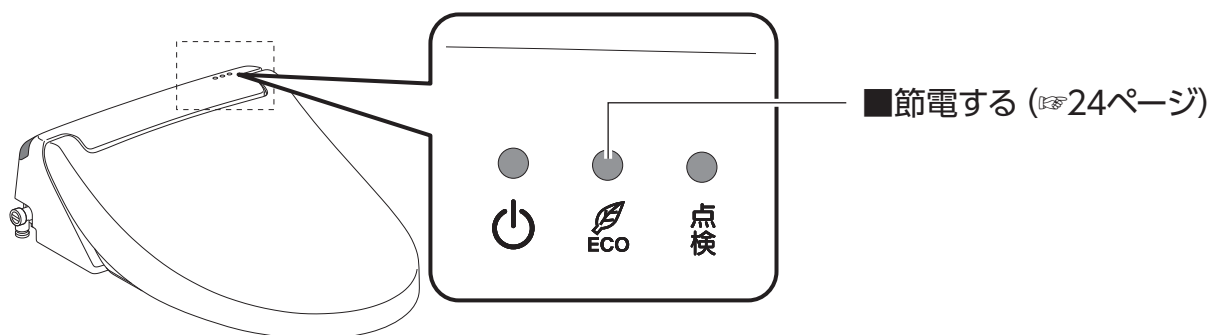
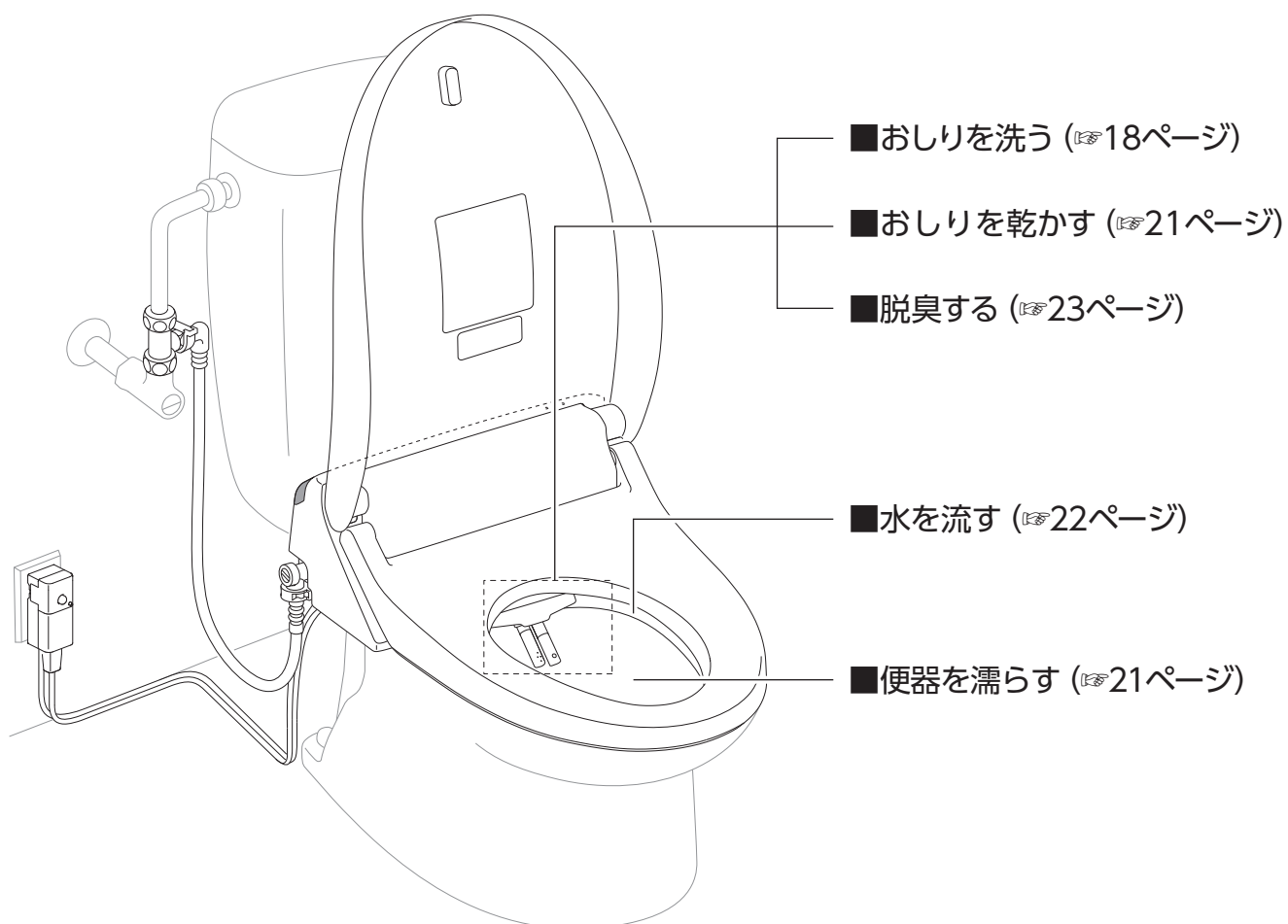
快適機能

機能	初期設定	参照 ページ	品番			
			CW-KA32AQ 型 CW-KA32Q 型	CW-KA32A 型 CW-KA32 型	CW-KA31AQ 型 CW-KA31Q 型	CW-KA31A 型 CW-KA31 型
フルオート便器洗浄	入 (6 秒)	22	○	—	○	—
リモコン便器洗浄	—	23	○	—	○	—
温風乾燥	中	21	○	○	—	—
W パワー脱臭	入	23	○	○	○	○
暖房便座	低	18	○	○	○	○
スローダウン便座	—	66	○	○	○	○
便座ヒーターオート OFF	切	18	○	○	○	○
着座スイッチ	—	9	○	○	○	○
壁リモコン	—	12	○	○	○	○

使い方ガイド

トイレ本体

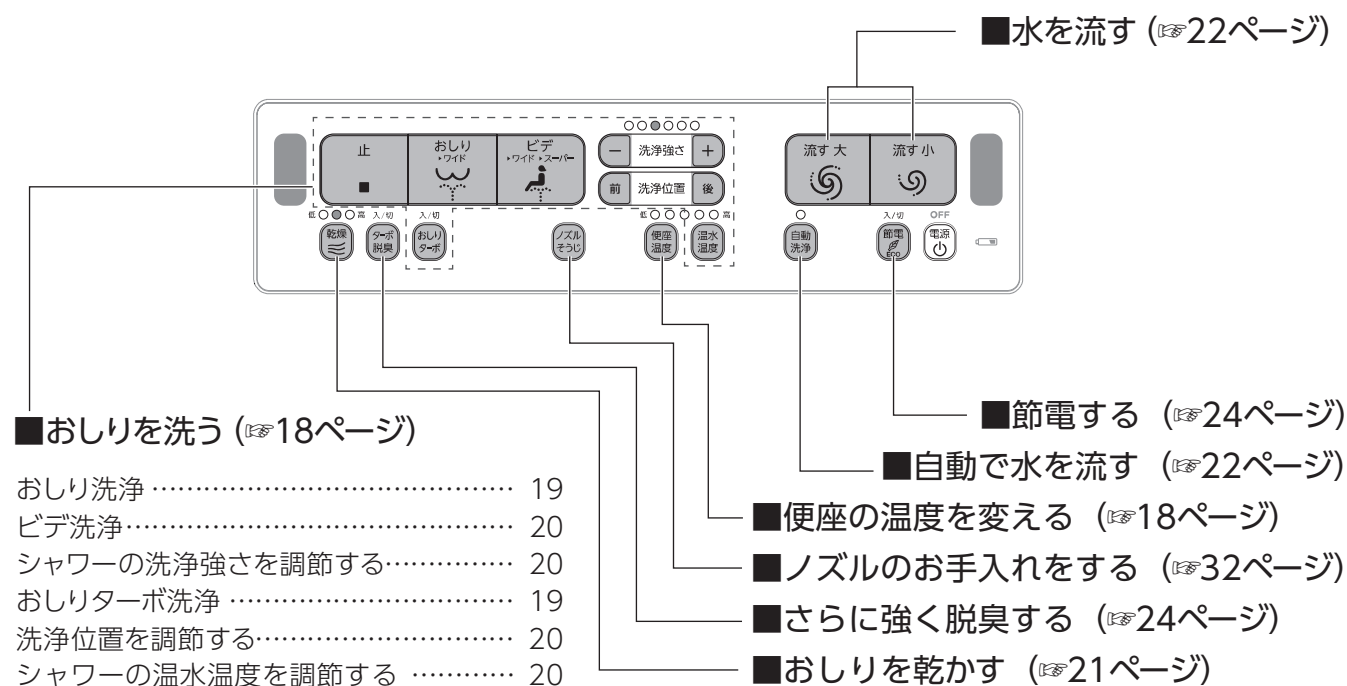
本体の部位別にかかわる機能を紹介します。詳細はそれぞれの参照先をご覧ください。



使い方ガイド

壁リモコン

基本的な操作は壁リモコンを使います。機能の詳細はそれぞれの参照先をご覧ください。



便座の温度を変える

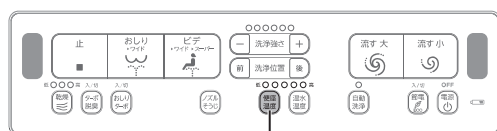
便座の温度を調節する

便座の温度を 6 段階に切り替えることができます。

■設定を切り替える

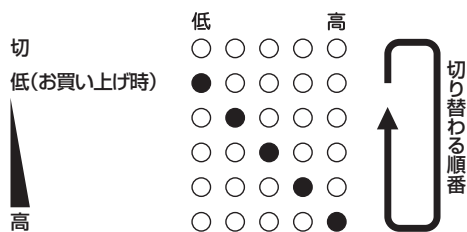
初期設定 低

「便座温度」を押すたびに、「切（室温）」、「低（約 28℃）」～「高（約 36℃）」に切り替わります。



「便座温度」

温度設定 温度ランプの表示(○:消灯、●:点灯)



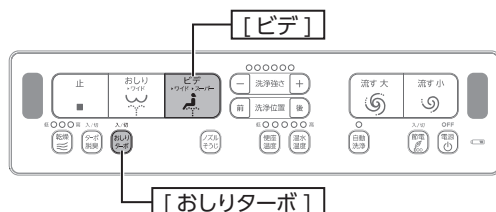
便座ヒーターを自動で「切」にする (便座ヒーターオート OFF)

「入」に設定すると、便座に座ったときに低温やけどを自動で防止します。

■設定を切り替える

初期設定 切

「おしりターボ」と「ビデ」を同じタイミングで 2 秒以上押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。



補足 | 設定の切り替え (P.26 ページ)

おしりを洗う

シャワーについて

シャワーでおしりの汚れを洗い流します。「おしり洗浄」「ビデ洗浄」の 2 種類があります。

2 種類の洗浄中に「ワイド洗浄」「スーパーワイド洗浄」の切替ができます。

「ワイド洗浄」は「おしりノズル」と「ビデノズル」が前後に動き、広い範囲をやさしく洗浄します。「スーパーワイド洗浄」は「ビデノズル」が前後に動き、「ワイド洗浄」より広い範囲をよりやさしくしっかり洗浄します。

洗浄時間は 10 秒～20 秒を目安にご使用ください。

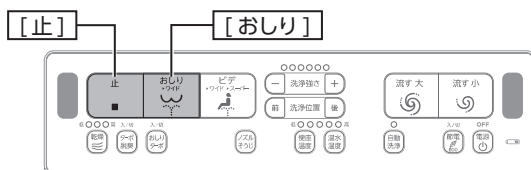
- △ 注意
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意する
 - 局部内は洗わない（常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。）
 - 習慣的に便意を促すために使用しない
 - 洗浄しながら故意に排便しない
 - 局部に痛みや炎症などがあるときは使用しない
 - 局部の治療・医療行為を受けているときは、医師の指示に従う

- ✎ 補足
- 便座に深く腰掛けて使用すると飛び散りが少なくなります。
 - 便器洗浄中は、シャワーが使用できません。（フルオート便器洗浄付きの場合）
 - 給水圧力が低い場合は、シャワーが弱くなることがあります。
 - おしり洗浄の前と後に自動でノズルを洗う「ノズルオートクリーニング機能」が付いています。
 - 2 分後に自動的に停止する「セルフストップ機構付」です。

おしりを洗う

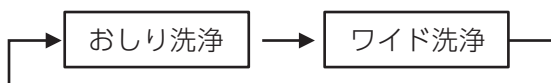
おしり洗浄

「おしり洗浄」は、排便後の局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。[おしり]を押すと洗浄が始まります。[止]を押すと洗浄が止まります。



■洗浄モードを切り替える

洗浄中に[おしり]を押すたびに、「おしり洗浄」と「ワイド洗浄」が切り替わります。

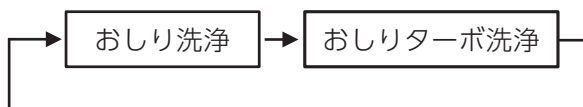
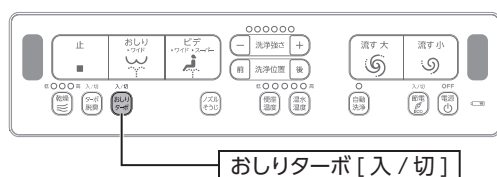


⇒おしりターボ洗浄

強（6段階目の6番目）よりも、さらに強い水勢で洗浄します。

「おしり洗浄」中におしりターボ[入/切]を押すたびに、「おしり洗浄」と「おしりターボ洗浄」が切り替わります。

補足 • 「おしりターボ洗浄」の感じ方には個人差があります。給水温度がきわめて低い冬期は、シャワーの温度は早めに低くなります。



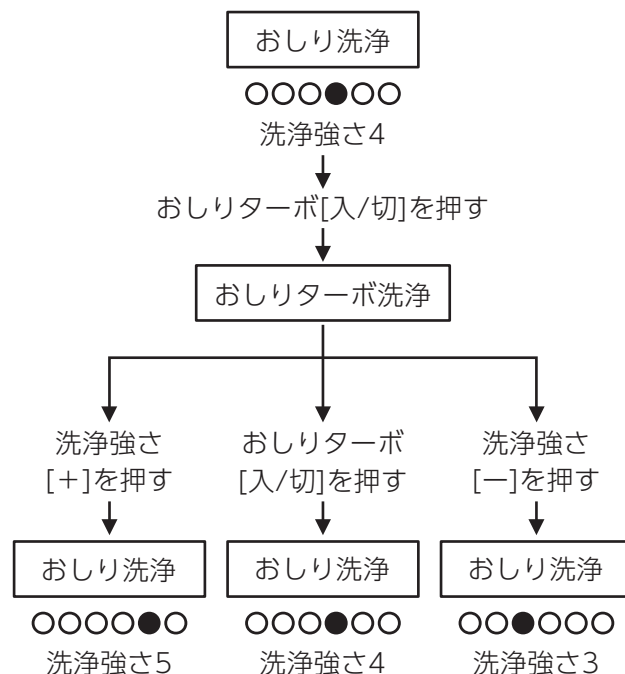
補足 • 「おしりターボ洗浄」から「おしり洗浄」に戻る場合は、「おしりターボ洗浄」に切り替える前と同じ水勢になります。

■「おしりターボ洗浄」中に、「おしり洗浄」に戻る

「おしりターボ洗浄」中に、洗浄強さ[+]を押すと、「おしりターボ洗浄」に切り替える前より1段階強い水勢の「おしり洗浄」に切り替わります。

「おしりターボ洗浄」中に、洗浄強さ[-]を押すと、「おしりターボ洗浄」に切り替える前より1段階弱い水勢の「おしり洗浄」に切り替わります。

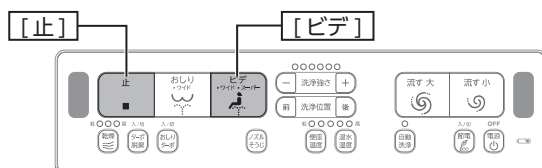
洗浄強さの切り替わり例



おしりを洗う

ビデ洗浄

「ビデ洗浄」は、生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。[ビデ]を押すと洗浄が始まります。[止]を押すと洗浄が止まります。



■洗浄モードを切り替える

洗浄中に[ビデ]を押すたびに、「ビデ洗浄」「ワイド洗浄」「スーパーワイド洗浄」が切り替わります。



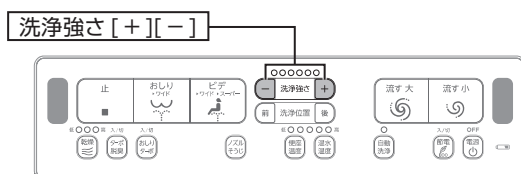
シャワールの調節・設定について

「おしり洗浄」「ビデ洗浄」中に、洗浄強さや洗浄位置が調節できます。また、シャワールの温度を設定できます。

シャワールの洗浄強さを調節する

初期設定 洗浄強さ 3

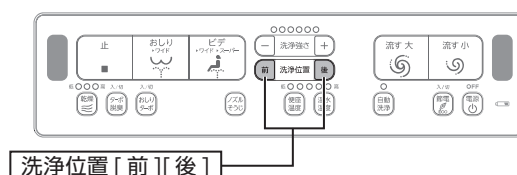
洗浄強さを6段階に調節できます。[+]を押すと強くなります。[-]を押すと弱くなります。水勢は「弱」から試し、慣れたら徐々に好みの水勢でご利用ください。



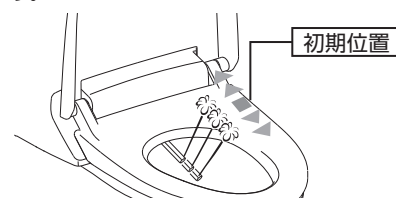
シャワールの洗浄位置を調節する

初期設定 中

洗浄位置を前後に各2段階、計5段階調節できます。



- 補足
 - ・洗浄強さランプとは連動しません。
 - ・便座から立ち上がると初期位置に戻ります。



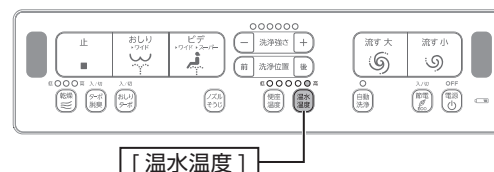
シャワールの温水温度を調節する

シャワールの温度を6段階に切り替えることができます。温水温度は季節に応じて好みの温度でご利用ください。

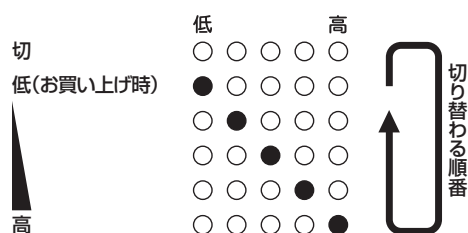
■設定を切り替える

初期設定 低

[温水温度]を押すたびに、「切(水温)」、「低(約32℃)」～「高(約40℃)」に切り替わります。



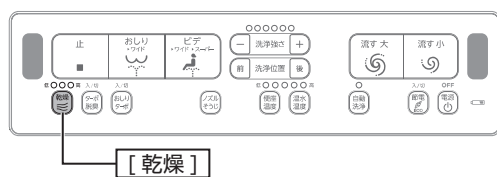
温度設定 温度ランプの表示(○:消灯、●:点灯)



おしりを乾かす

■ 温風で乾かす (温風乾燥)

温風が出て、シャワーでぬれた部分を乾燥します。
[乾燥]を押すと温風が出ます。[止]を押すと温風が止まります。



- ✎ 補足
- この機能がついていない機種があります。(※ 14 ページ)
 - 洗浄後、トイレトペーパーでおしりの水滴を軽く取ってから[乾燥]を押せば、素早く乾燥できます。

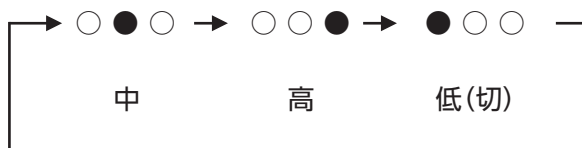
■ 乾燥中に温風温度を調節する

初期設定 中

温風乾燥中に[乾燥]を押すたびに、温風温度が「中」、「高」、「低(切)」の順に切り替わります。

- ✎ 補足
- 4分後に自動停止する「セルフストップ機構付」です。

乾燥温度ランプの表示 (○：消灯、●：点灯)



- ✎ 補足
- 乾燥を止めた後は、初めの設定温度に戻ります。

おしりを乾かす

■ 温風温度の設定を切り替える

初期設定 中

「温風乾燥」の開始温度の設定を変更できます。[止]と[乾燥]を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに、温風温度の開始温度が「中」、「低(切)」、「高」の順に切り替わります。

乾燥中の温風温度と開始温度の切替え順

セット操作	開始温度	使用中、[乾燥]を押したときの温度の切り替わり方		
		1回目	2回目	3回目
初期設定	中	高	低	中
1度目	低	中	高	低
2度目	高	中	低	高

- ✎ 補足
- 設定の切り替え (※ 26 ページ)

便器を濡らす

■ 自動で便器を濡らす (鉢内スプレー)

便座に座ると自動的に便器の表面を濡らし、便器に汚物が付着するのを軽減します。便座に座ると約6秒間、便器鉢内にスプレーを噴出します。

- ✎ 補足
- 「鉢内スプレー」は、立ち上がった後、約80秒以内に座った場合は噴出しません。

■ 設定を切り替える

初期設定 入

[ノズルそうじ]と[便座温度]を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。

- ✎ 補足
- 設定の切り替え (※ 26 ページ)

水を流す

洗浄について

自動で洗浄、リモコンで洗浄、本体の洗浄ハンドルで洗浄する3種類があります。

自動で水を流す（フルオート便器洗浄）

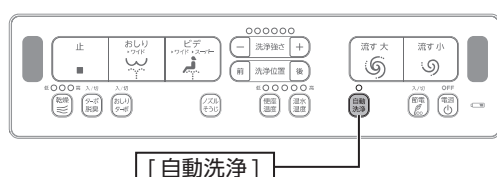
便座から立ち上がると、自動で水が流れます。

✎ 補足 | この機能がついていない機種があります。
(※ 14 ページ)

■設定を切り替える

初期設定 入 (6 秒)

[自動洗浄] を1回押すと、「自動洗浄」の設定を確認できます。設定を切り替えるには5秒以内にもう1回押してください。「入」「切」が切り替わります。



大洗浄と小洗浄の区別

洗浄の種類	洗浄の条件	洗浄のタイミング
大洗浄	<ul style="list-style-type: none"> ・50 秒以上便座に座る ・50 秒未満便座に座り、「おしり洗浄」を使用した場合 	立ち上がってから 6 秒後
小洗浄	<ul style="list-style-type: none"> ・10 秒以上、50 秒未満便座に座る 	

■洗浄までのタイミングを切り替える

初期設定 6 秒

便座から立ち上がってから、水を流すまでの時間を4段階に切り替えることができます。[止]と[ノズルそうじ]を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに、水を流すまでの時間が「6 秒」、「10 秒」、「15 秒」、「2 秒」の順に切り替わります。

時間の切り替わりと
本体表示部の電源ランプの点灯回数

→ 6秒 →	→ 10秒 →	→ 15秒 →	→ 2秒 →
2回点滅	1回点滅	1回点滅	1回点滅

■大小洗浄または大洗浄のみに切り替える

初期設定 大小洗浄

「大小洗浄」と「大洗浄」を切り替えることができます。[ノズルそうじ]と[ビデ]を同じタイミングで6秒以上押してください。同じ操作をするたびに「大小洗浄」と「大洗浄」が切り替わります。

✎ 補足 | 設定の切り替え (※ 26 ページ)

■洗浄ハンドルの洗浄方向を切り替える

初期設定 反時計方向

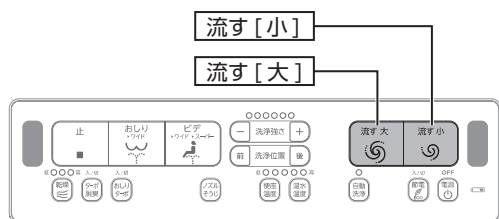
洗浄ハンドルの回転方向を「反時計方向」または「時計方向」に切り替えることができます。[電源]と[ノズルそうじ]を同じタイミングで6秒以上押してください。同じ操作をするたびに「反時計方向」と「時計方向」が切り替わります。

✎ 補足 | 設定の切り替え (※ 26 ページ)

水を流す

リモコンで水を流す

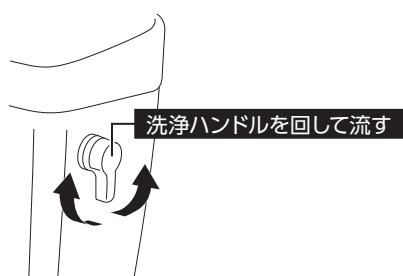
壁リモコンの流す [大] 流す [小] を押すと、水が流れます。



- ✎ 補足
- 紙を多量に使用した場合は、流す [大] を押してください。
 - 小ホールド洗浄（ハンドルを [小] のほうに手で持ち上げている間だけ小洗浄する）タイプの便器に取り付けた場合、大洗浄のみリモコンでできます。流す [大] を押してください。

洗浄ハンドルで水を流す

洗浄ハンドルで水を流すことができます。



脱臭する

脱臭について

便座に座ると自動的に脱臭を開始します。着座中は「パワー脱臭」、立ち上がるとより強力な「フルパワー脱臭」へ自動で切り替わりにおいを吸引します。

自動で脱臭する (W パワー脱臭)

状況に合わせた強さで脱臭します。

脱臭モード切り替わり

状況	脱臭モード
座っている	パワーモード (通常脱臭)
立ち上がる	フルパワーモード (強力脱臭)
立ち上がってから 1 分後	自動停止

設定を切り替える

初期設定 入

[止] と [ビデ] を同じタイミングで 2 秒以上押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。

- ✎ 補足 | • 設定の切り替え (P. 26 ページ)

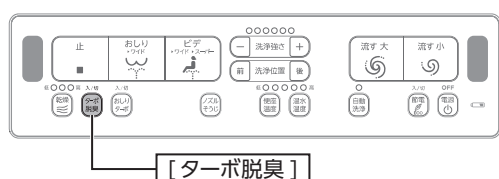
脱臭する

さらに強く脱臭する（ターボ脱臭）

自動脱臭時より、さらに強力に便鉢のにおいを吸引します。

■設定を切り替える

自動脱臭作動中に、[ターボ脱臭] を押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。



補足 | 脱臭ファンは、立ち上がってから1分後に自動停止します。

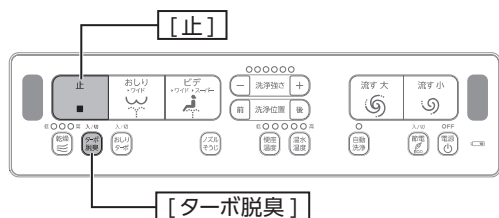
⇒自動脱臭を常にターボモードにする

脱臭時は、常にターボモードで便鉢内のにおいを除去します。

■設定を切り替える

初期設定 切

[止] と [ターボ脱臭] を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。



補足 | 設定の切り替え (p.26 ページ)

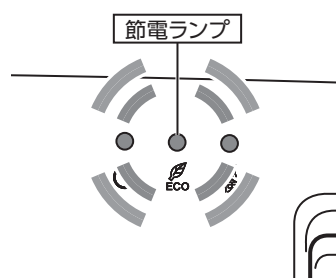
節電する

節電について

節電機能には、「ワンタッチ節電 (8時間)」と「スーパー節電 (常時)」の2種類があります。

補足 | 節電機能を使用しない場合でも、トイレを使用していないときに便フタを閉じておくことで節電に効果的です。

「節電ランプ」で、節電機能の状態を確認できます。



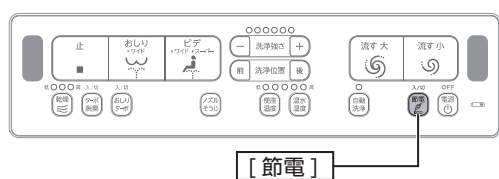
節電機能時の節電ランプ状態

節電機能	節電中	待機中
切	消灯	消灯
ワンタッチ	点灯	点滅
スーパー	2回点滅	—
併用	ワンタッチ節電中	点灯
	ワンタッチ節電待機中	2回点滅

節電する

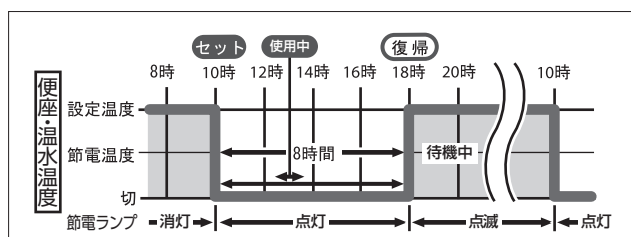
ワンタッチ節電（8時間）を設定する

「ワンタッチ節電」を設定すると、便座と温水のヒーターを8時間「切」にして消費電力を抑えます。毎日同じ時間に節電が作動します。



- ✎ 補足
- ・ 停電時や電源プラグを抜いた場合は、「ワンタッチ節電」の設定がリセットされます。
 - ・ ワンタッチ節電中は使用しても温度は「切」のままです。

ワンタッチ節電例：10時から18時まで設定した場合



設定を切り替える

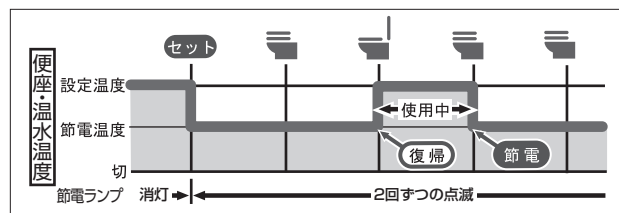
初期設定 切

「節電」を押すたびに「入」「切」が切り替わります。開始したい時刻に「節電」を押してください。

スーパー節電（常時）を設定する

トイレを使用していない場合に、便座と温水の温度を下げて消費電力を抑えます。

スーパー節電設定時の便座温度と節電ランプ



設定を切り替える

初期設定 切

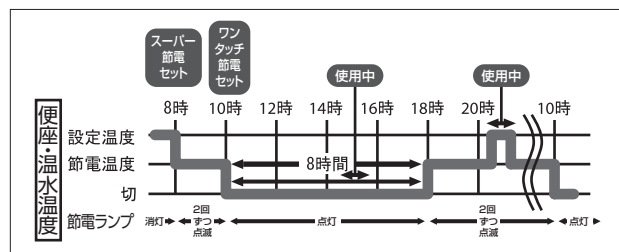
開始したい時刻に「節電」と「ノズルそうじ」を同じタイミングで2秒以上押してください。同じ操作をするたびに「入」「切」が切り替わります。

- ✎ 補足
- ・ 設定の切り替え (P. 26 ページ)

⇒スーパー節電とワンタッチ節電を併用した場合

「スーパー節電」を設定したうえで、さらに「ワンタッチ節電（8時間）」を併用することで、効果的な節電ができます。

併用例：「ワンタッチ節電」を10時から18時まで設定した場合



お好みの設定にする

お好みの設定について

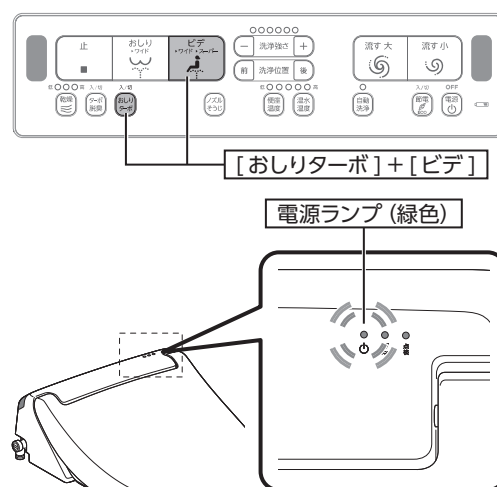
初期設定を変更することで、お好みのトイレに設定できます。

設定の切り替え

リモコンのボタンを同時に 2 つ、2 秒以上または 6 秒以上押して設定を切り替える操作があります。その場合、設定を「入」にすると本体表示部の電源ランプが 1 回点滅します。「切」または初期設定の状態にすると本体表示部の電源ランプが 2 回点滅します。同じ操作をするたびに設定が切り替わります。

✎ 補足 | • 本体表示部 (P. 11 ページ)

例：便座ヒーターオート OFF



設定項目一覧

- ✎ 補足 | • 機種によっては、一部機能がついていない場合があります。
• 電源プラグを抜いたり、電源ボタンを「切」にしたりしても変更した設定は記憶されています。
• 「ワンタッチ節電」は、電源プラグを抜くと設定がリセットされます。(P. 25 ページ)

機能			操作ボタン	初期設定
便器洗浄	フルオート便器洗浄開始時間 ☆ (P. 22 ページ)	立ち上がってから洗浄するまでの時間を 6 秒(初期設定) → 10 秒 → 15 秒 → 2 秒と切り替えます。	[止]+[ノズルそうじ] (同時に 2 秒以上押す)	入 (6 秒)
	大小洗浄または大洗浄に切り替える ☆ (P. 22 ページ)	「大小洗浄」と「大洗浄」を切り替えることができます。	[ノズルそうじ]+[ビデ] (同時に 6 秒以上押す)	大小洗浄
	洗浄ハンドルの洗浄方向を切り替える ☆ (P. 22 ページ)	洗浄ハンドルの回転方向を「反時計方向」または「時計方向」に切り替えることができます。	[電源]+[ノズルそうじ] (同時に 6 秒以上押す)	反時計方向
乾燥	温風乾燥始動温度 (P. 21 ページ)	温風乾燥の始めの温度 (初期状態:「中」) を「中」→「低(切)」→「高」と切り替えます。	[止]+[乾燥] (同時に 2 秒以上押す)	中
節電	スーパー節電入/切 (P. 25 ページ)	使用していないとき、便座の温度を下げて消費電力を抑えます。	[節電]+[ノズルそうじ] (同時に 2 秒以上押す)	切
便座温度	便座ヒーターオート OFF 入/切 (P. 18 ページ)	便座に座ると自動的に便座ヒーターが「切」になり、低温ヤケドを起こしにくくします。	[おしりターボ]+[ビデ] (同時に 2 秒以上押す)	切
脱臭	脱臭入/切 (P. 23 ページ)	自動脱臭を「切」にします。	[止]+[ビデ] (同時に 2 秒以上押す)	入
	常時ターボモード入/切 (P. 24 ページ)	自動脱臭を常にターボモードにします。	[止]+[ターボ脱臭] (同時に 2 秒以上押す)	切
その他	鉢内スプレー入/切 (P. 21 ページ)	鉢内スプレーを「切」にします。	[ノズルそうじ]+[便座温度] (同時に 2 秒以上押す)	入
	設定初期化	お買い上げ時の設定に戻すことができます。☆印付の機能は初期化しません。	[洗浄位置 前]+[節電] (同時に 2 秒以上押す)	—

お手入れガイド

ふだんのお掃除・お手入れ

部位別にお掃除・お手入れの頻度の目安を示しています。お掃除・お手入れ方法の詳細は参照先をご覧ください。

お掃除場所と汚れの種類	お掃除道具	お手入れの頻度	参照ページ
トイレのプラスチック部分 (便座、便フタ、カバー類、リモコン) ほこり、手アカ、小水のしみ 	柔らかい布	毎日	28
便器 	—	—	便器の取扱説明書をご覧ください。
便座と便器の隠れた部分 ほこり、手アカ、小水のしみ 	柔らかい布	月に1回	30
ノズル カビ、水アカ、小水のしみ 	スポンジ	月に1回	32
ノズルシャッター 水アカ、小水のしみ 	柔らかい布	基本的手入れ 毎日 取り外してお手入れ 月に1回	35
脱臭カートリッジ ほこり 	歯ブラシ	月に1回	36
ストレーナー 水アカ、異物 	—	2年に1回	38

お手入れの準備をする

掃除道具

種類		使う場所
柔らかい布	使い古したタオルやTシャツを適当なサイズに切って使用してください。	便座・便フタ・カバー類
スポンジ	小さくて、できるだけ柔らかいものを使用してください。	ノズル先端
ゴム手袋	手アレ防止のために使用してください。	—
歯ブラシ	使い古したものを使用してください。	脱臭カートリッジ

LIXILのお掃除グッズ (P. 62 ページ)

種類		使う場所
トイレ用おそうじティッシュ	プラスチックを傷めず、除菌効果に優れています。使用後は、便器にそのまま流せます。	便座・便フタ・カバー類
シャワートイレお掃除クリーナー	プラスチックを傷めないスプレー式。シュッとかけて拭き取るだけ。	便座・便フタ・カバー類

- ⚠ 注意
- 尿などの汚れが付着した場合はこまめに清掃してください。汚れが付いて時間が経つと、除去しにくくなる場合があります。

洗剤

■プラスチック部に使う洗剤

- ⚠ 注意
- 便座に使用できる洗剤を使用する
 - 次の洗剤を使用しない
 - ・トイレ用洗剤
 - ・住宅用洗剤
 - ・漂白剤
 - ・除菌薬
 - ・ベンジン
 - ・シンナー
 - ・クレンザー
 - ・クレゾール
- (故障、けが、感電、火災の恐れ)

プラスチック部分のお手入れ

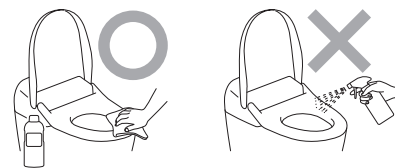
基本的なお手入れ

お手入れの目安 毎日

便座、便フタ、カバー類、リモコンを掃除します。汚れは放っておくと落ちにくくなります。固くしぼった柔らかい布でこまめに水拭きしてください。



- ⚠ 警告
- お手入れで洗剤・薬品（消毒薬・除菌薬）使用した場合は、薬剤除去のため必ず水拭きをしてください。
 - 消毒液や除菌剤の日常的な使用は控えてください。
 - シャワートイレ本体や、電源プラグに水や洗剤・薬品（消毒薬・除菌薬）を直接かけないでください。
(破損・金属部品の腐食・劣化・感電・発煙・火災の原因)



- ✎ 補足
- リモコンを掃除する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - お掃除アイテムは、当社純正品をおすすめします。「別売品を購入する」をご参照ください。(P. 62 ページ)

プラスチック部分のお手入れ

便フタを外して掃除する

お手入れの目安 月に1回

便フタは簡単に外せます。トイレ本体や便フタのすきま、ヒンジ部を掃除できます。

動画で確認

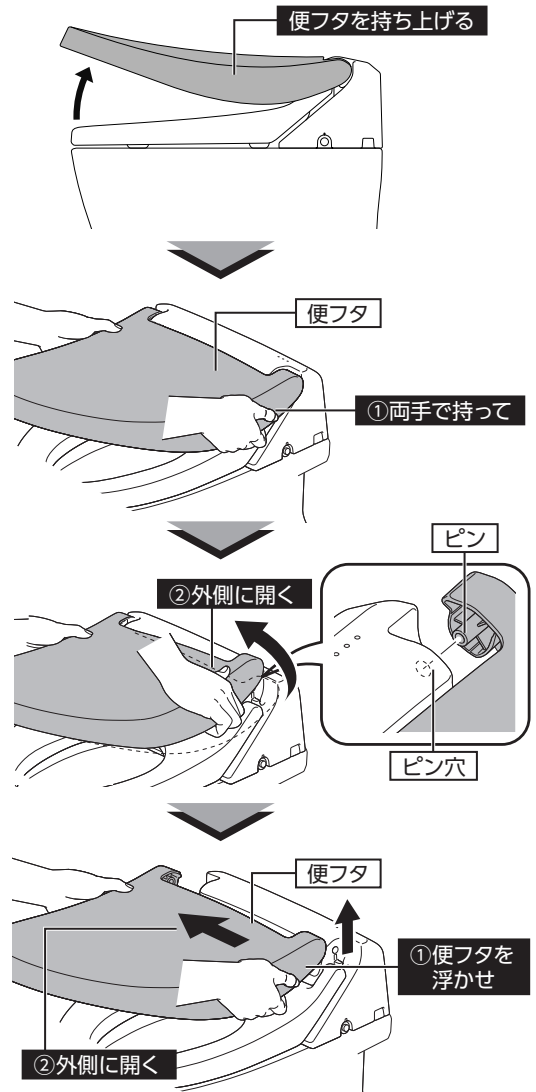
プラスチック部分のお手入れ



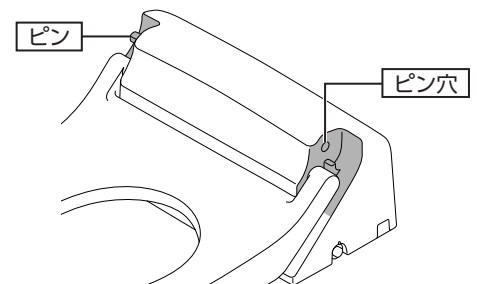
1 [電源] を押して「切」にする



2 便フタを外す



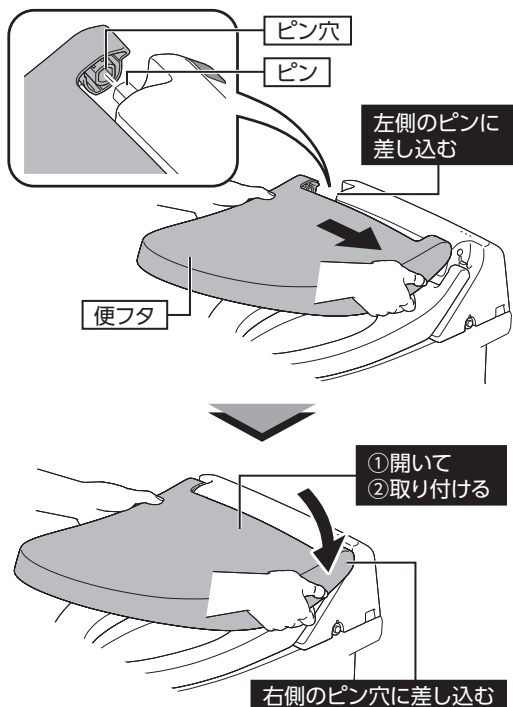
3 ピンと、その周辺を柔らかい布で水拭きする



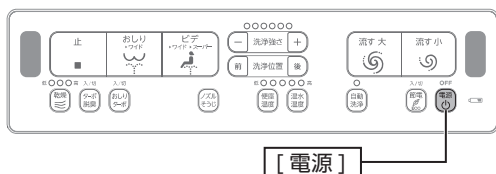
補足 | 便フタが汚れている場合は、丸洗いすることができます。

プラスチック部分のお手入れ

4 便フタを取り付ける



5 [電源]を押して「入」にする



- ⚠ 注意
- 便フタを外したまま便座を開かない
 - 便フタを外したまま使用しない
(破損の恐れ・キズの原因)

隠れた部分のお手入れ

本体を手前に動かして掃除する
(本体スライド着脱)

お手入れの目安 月に1回

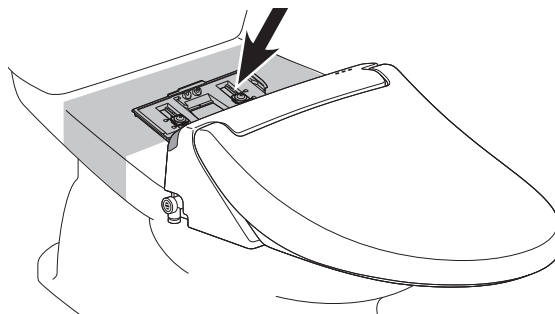
本体を外して便器全体や本体裏側の掃除ができます。
細かいところまで、しっかり掃除したいときに便利です。

動画で確認

隠れた部分のお手入れ



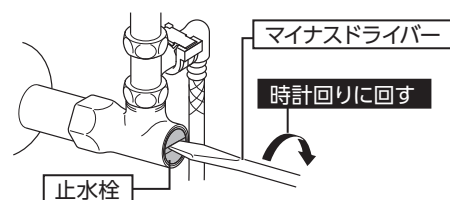
この掃除ができます。



- ✎ 補足
- 分岐金具と本体の給水接続が接続銅管の場合は、本体を外して掃除することはできません。
 - お掃除アイテムは、当社純正品をおすすめします。「別売品を購入する」をご参照ください。(※ 62 ページ)

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 止水栓を閉める

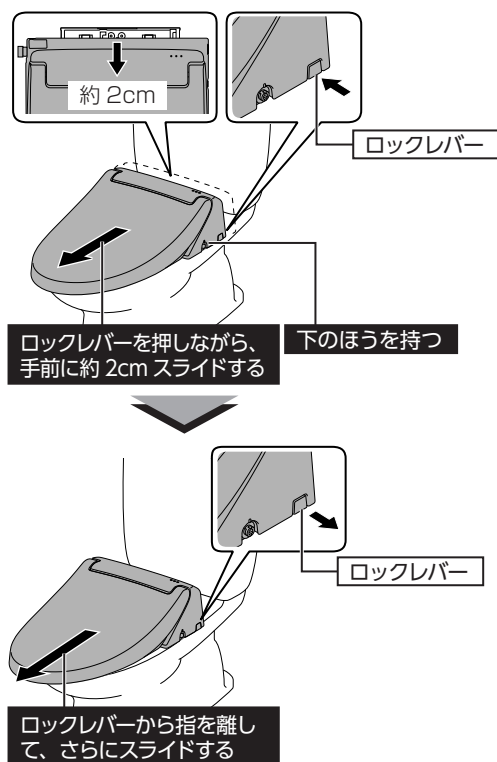


隠れた部分のお手入れ

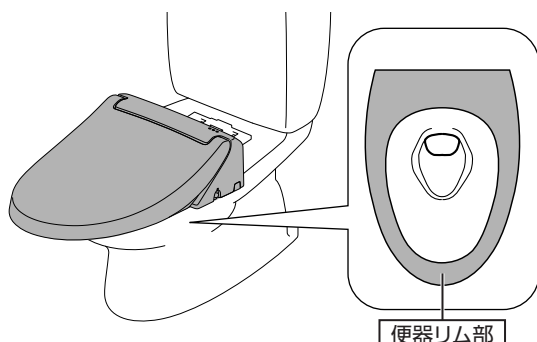
3 温水タンクの水を抜く

- ⚠ 注意
- 温水タンクに水をいれたまま本体を外さない
(漏電の恐れ・故障の原因)
- ✍ 補足
- 「長期間使用しないとき」をご参照ください。(P.42 ページ)

4 本体を外す



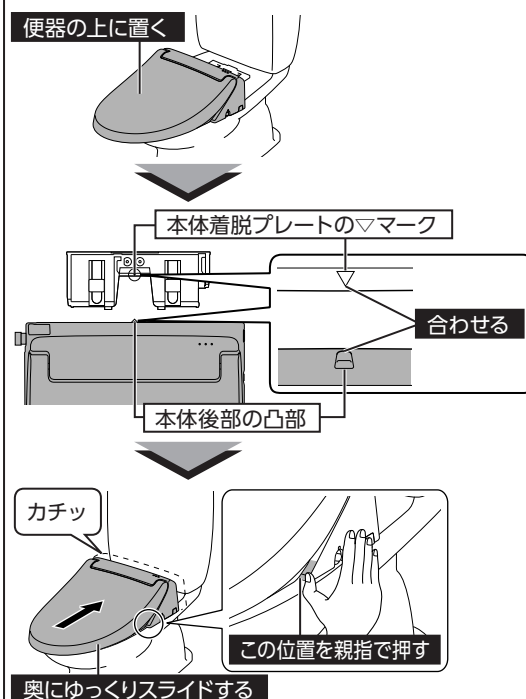
5 本体を便器リム部に静かに置く



6 本体を、柔らかい布で水ぶきする

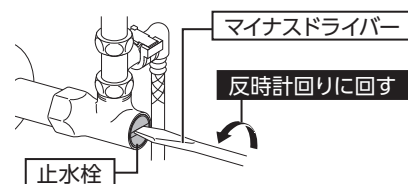
- ✍ 補足
- 便器のお手入れ方法は、便器の取扱説明書をご参照ください。

7 本体を取り付ける



8 本体を軽く前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認する

9 止水栓を開ける

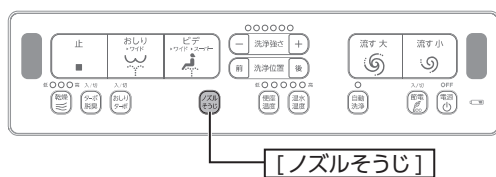


10 電源プラグをコンセントに差し込む

ノズルのお手入れ

基本的なお手入れ

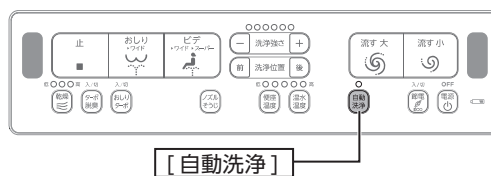
便座に座っているときに、お好みのタイミングでノズルを洗うことができます。
ノズルが本体に収納されたまま、自動洗浄します。



- ✎ 補足
- 「おしり洗浄」「ビデ洗浄」の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄する「オートクリーニング機能」が付いています。

1 「自動洗浄」を「切」にする

[自動洗浄]を1回押すと、「自動洗浄」の設定を確認できます。設定を切り替えるには5秒以内にもう1回押してください。「入」「切」が切り替わります。



- ✎ 補足
- 機種によっては、機能がついていない場合があります。(P. 14 ページ)

ノズルを掃除する

お手入れの目安 月に1回

「おしりノズル」、「ビデノズル」を順に掃除します。

動画で確認

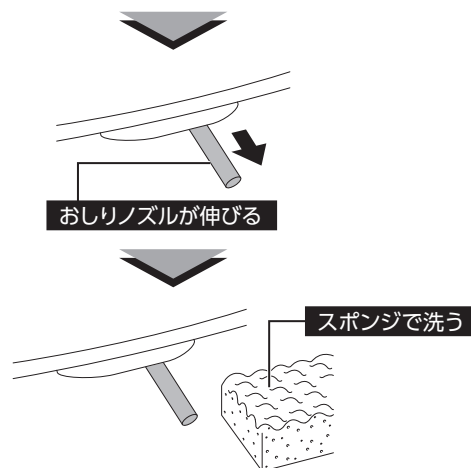
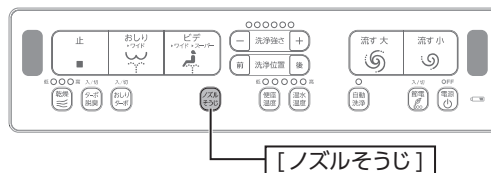
ノズルのお手入れ



- ⚠ 注意
- 歯ブラシでこすらない (キズの原因)
 - 「おしりノズル」「ビデノズル」を無理やり手で引っ張り出したり、押し戻したりなどの強い力をかけない (故障、動作不良の原因)
- ✎ 補足
- [止]を押すとノズルは戻せます。
 - 「おしりノズル」「ビデノズル」の先端は交換できます。(P. 33 ページ)

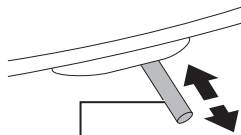
2 便フタと便座を開く

3 「おしりノズル」を洗う



ノズルのお手入れ

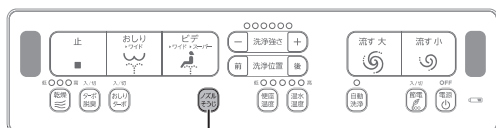
4 「おしりノズル」が戻る



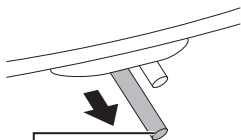
おしりノズルが戻る

- ✎ 補足
- [ノズルそうじ] を押すと、「おしりノズル」が戻り「ビデノズル」が伸びます。
 - 「おしりノズル」が戻るときに少しだけ前に数秒間出てから戻ります。
 - 「おしりノズル」は約 5 分たつと自動で戻ります。

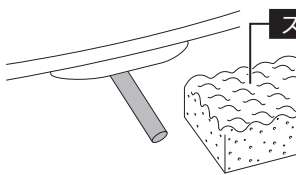
5 「ビデノズル」を洗う



[ノズルそうじ]

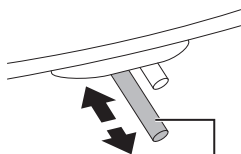


ビデノズルが伸びる



スポンジで洗う

6 「ビデノズル」が戻る



ビデノズルが戻る

- ✎ 補足
- 「ビデノズル」が戻るときに、少しだけ前に数秒間出てから戻ります。
 - 「ビデノズル」は約 5 分たつと自動で戻ります。

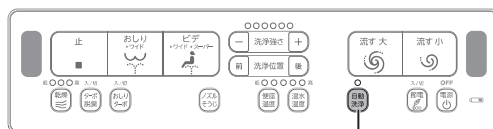
ノズル先端を交換する

ノズル先端の汚れが落ちない場合は、先端のみ交換できます。

- ✎ 補足
- お求めは、別売品の購入方法をご参照ください。(P. 62 ページ)

1 「自動洗浄」を「切」にする

[自動洗浄] を 1 回押すと、「自動洗浄」の設定を確認できます。設定を切り替えるには 5 秒以内にもう 1 回押してください。「入」「切」が切り替わります。

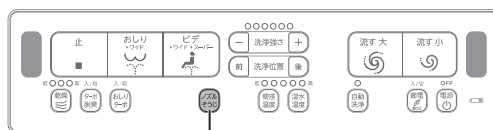


[自動洗浄]

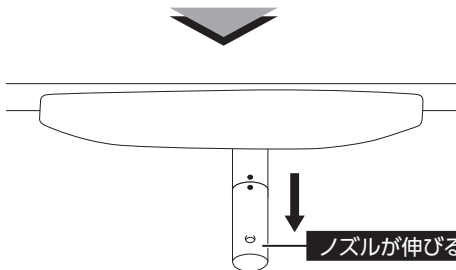
- ✎ 補足
- 機種によっては、機能がついていない場合があります。(P. 14 ページ)

2 便フタと便座を開く

3 ノズルを出す



[ノズルそうじ]

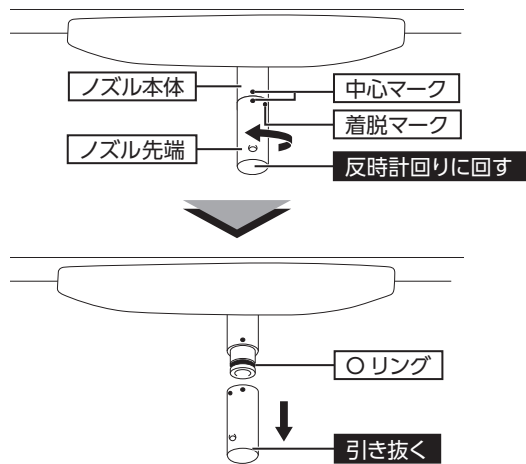


ノズルが伸びる

- ✎ 補足
- 「ノズルを掃除する」と同じ手順でノズルが出ます。(P. 32 ページ)

ノズルのお手入れ

4 ノズル先端を取り外す



⚠ 注意

- ・Oリングを傷つけない
(漏水の原因)

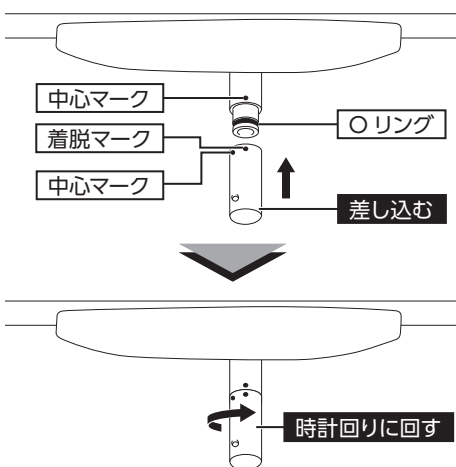
✍ 補足

- ・ノズルを少し引き出すようにして、ノズル奥側を手でおさえてください。

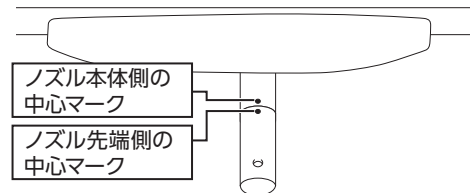
5 ノズル先端を取り付ける

✍ 補足

- ・ノズル先端を取り付ける前にノズルが戻ってしまった場合は、手順3に従いノズルを出してください。



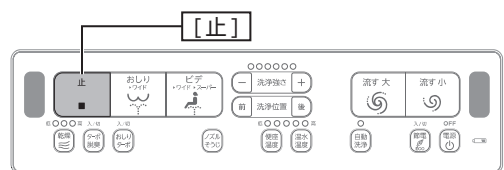
6 結合部を確認する



⚠ 注意

- ・取り付け後に次のことを確認する
 - ・ノズル本体と先端の中心マークが合っていること
 - ・結合部に隙間がなく、平らになっていること
(故障のおそれ・シャワー洗浄の角度がかわってしまうおそれ)

7 ノズルを戻す



⚠ 注意

- ・ノズルに強い力をかけない
- ・ノズルを無理やり手で引っ張り出したり、押し戻したりしない
(破損の恐れ・故障の原因)
- ・歯ブラシでこすらない
(キズの原因)

✍ 補足

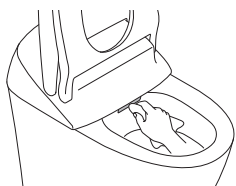
- ・誤って引っ張り出したり、押し戻したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、10秒ほど待ってから再び電源プラグを差し込んでください。

ノズルシャッターのお手入れ

基本的手入れ

お手入れの目安 毎日

柔らかい布やスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で拭いてください。



ノズルシャッターを取り外して掃除する

お手入れの目安 月に1回

動画で確認

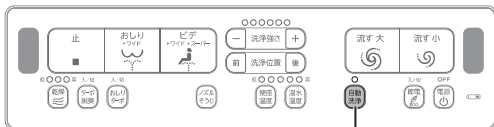
ノズルシャッターのお手入れ



補足 | 「ノズルシャッター」は交換できます。
(P. 62 ページ)

1 「自動洗浄」を「切」にする

「自動洗浄」を1回押すと、「自動洗浄」の設定を確認できます。設定を切り替えるには5秒以内にもう1回押してください。「入」「切」が切り替わります。

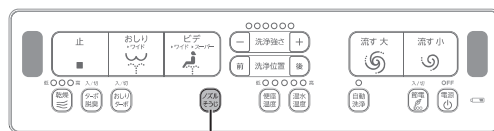


「自動洗浄」

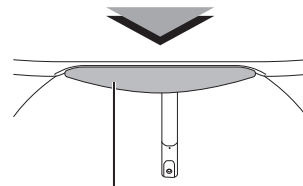
補足 | 機種によっては、機能がついていない場合があります。(P. 14 ページ)

2 便フタと便座を開く

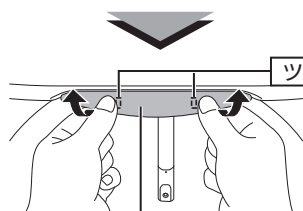
3 「ノズルシャッター」を取り外す



「ノズルシャッター」



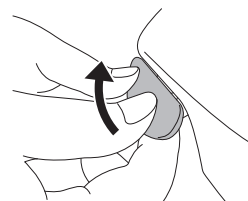
おしりノズルが伸びて、ノズルシャッターを押し上げる



ツメ (裏側)

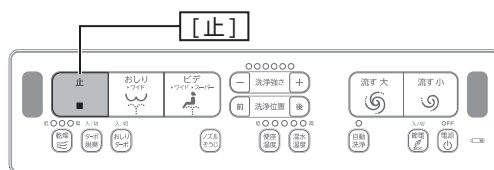
両手で持ち、上に回転させるように持ち上げる

補足 | 「ノズルシャッター」の裏側にあるツメのあたりを持ちます。
持ち上げるときに、次の図のように回転させるように持ち上げて外してください。



4 「ノズルシャッター」を柔らかい布で水拭きする

5 「おしりノズル」を戻す

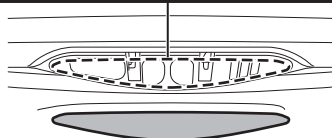


「止」

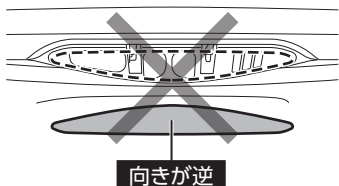
ノズルシャッターの お手入れ

6 「ノズルシャッター」を取り付ける

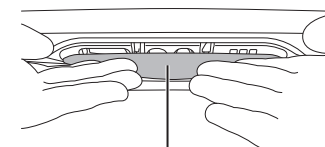
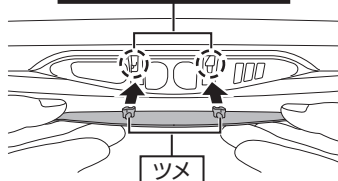
ノズルシャッターの向きを本体に合わせる



✎ 補足 • 「ノズルシャッター」の向きが逆になると正しく取り付けできません。



ツメの位置を合わせる



「カチッ」と音がするまで押し込む

⚠ 注意 • 「ノズルシャッター」に強い力をかけない
(破損の恐れ)

脱臭カートリッジの お手入れ

基本的手入れ

お手入れの目安 月に1回

「脱臭カートリッジ」にホコリや汚れが付着すると、十分な脱臭ができなくなります。

動画で確認

脱臭カートリッジのお手入れ



⚠ 注意 • 「脱臭カートリッジ」を水洗いしない

✎ 補足 • 「脱臭カートリッジ」は交換できます。
(※ 62 ページ)
• 「脱臭カートリッジ」の交換目安は、約 7 年です。
→ 「脱臭カートリッジ」の寿命は、4 人家族 (男性 2 人、女性 2 人) の平均使用時間を基本としています。

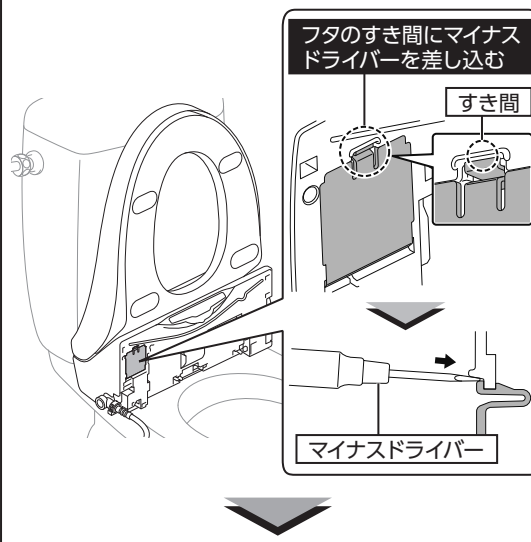
1 電源プラグをコンセントから抜く

2 本体を便器から外す

✎ 補足 • 隠れた部分のお手入れ (※ 30 ページ)

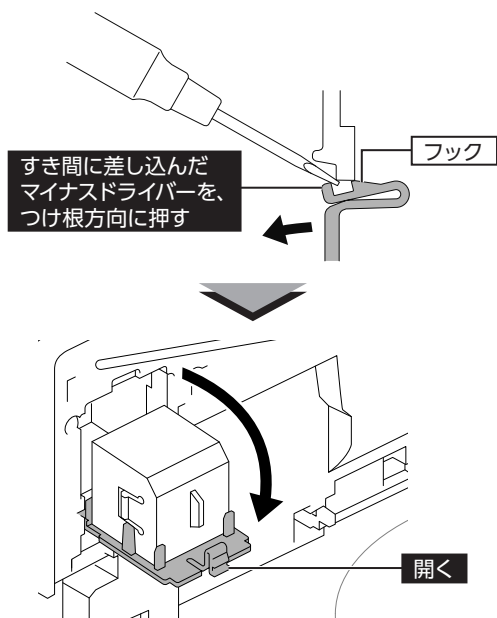
3 本体を便器の上に立て掛ける

4 脱臭カートリッジ取付口フタを開く

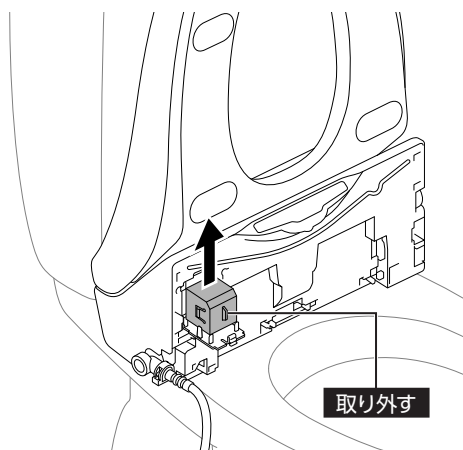


脱臭カートリッジのお手入れ

4

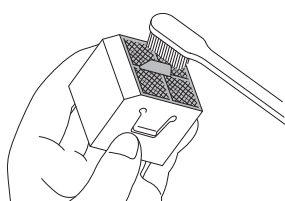


5 「脱臭カートリッジ」を取り外す



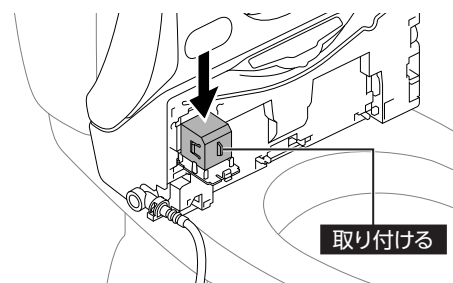
✍ 補足 | • 左手で本体機能部を軽く支えながら取り出してください。

6 フィルターのホコリや汚れを取り除く

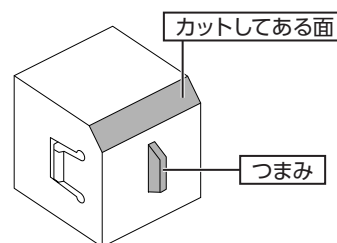


7

「脱臭カートリッジ」を取り付ける

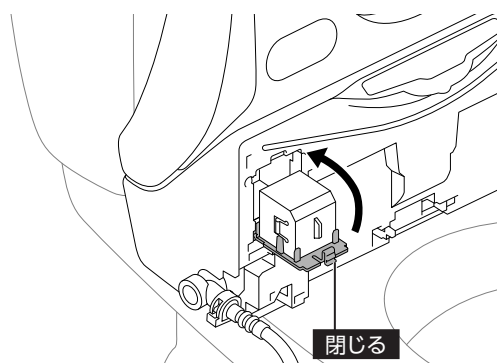


✍ 補足 | • カットしてある面が上になり、つまみが正面になるように脱臭カートリッジ取付口フタに置いてください。



8

脱臭カートリッジ取付口フタを閉じる



✍ 補足 | • 「カチッ」と音がするまで閉めてください。

9

本体を便器に取り付ける

✍ 補足 | • 隠れた部分のお手入れ (※ 30 ページ)
• 便座温度と温水温度が、電源プラグを抜く前と同じ設定であることを確認してください。

10

電源プラグをコンセントに差し込む

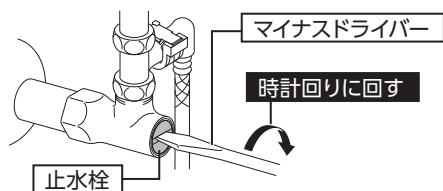
ストレーナーのお手入れ

ストレーナーを取り外して掃除する

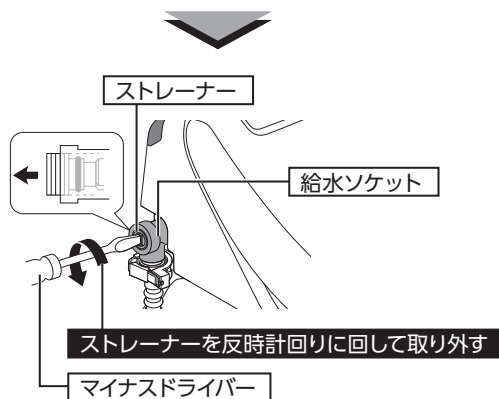
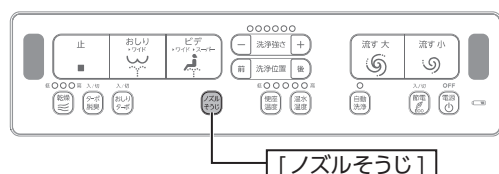
お手入れの目安 2年に1回

「ストレーナー」は水道水の異物を除去します。長期間使用して、便器洗浄やシャワーの勢いが弱くなり始めたら、「ストレーナー」を掃除してください。

1 止水栓を閉める

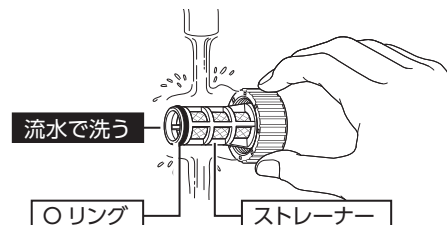


2 「ストレーナー」を取り外す

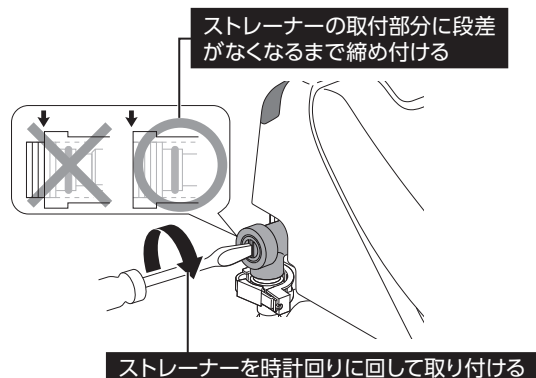


- 補足
- 取り外すときは少量の水がこぼれるので洗面器などで水を受けてください。
 - 「ストレーナー」を取り外す際、給水ソケットも同時に回転します。

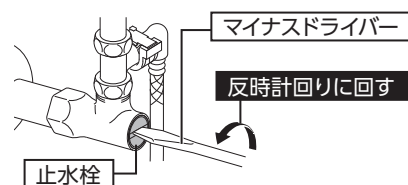
3 「ストレーナー」やOリングに付着したゴミを取り除く



4 「ストレーナー」を取り付ける



5 止水栓を開ける



6 ストレーナー部から水漏れしていないことを確認する

凍結しそうなとき

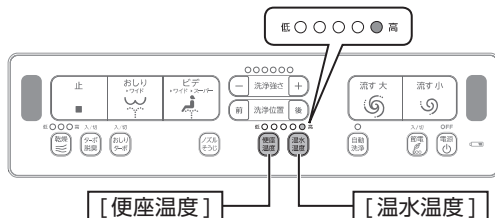
凍結防止について

冷え込みが厳しい場合は、トイレ本体内の水が凍結し、破損することがあります。
凍結の恐れがある場合は必ず操作を行ってください。

室内を暖房できる場合

■温度を高くしてあたためる

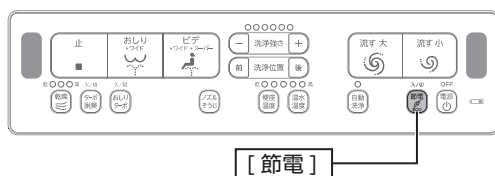
1 温水温度・便座温度を「高」にする



- ✎ 補足
- 便座温度の設定方法 (P. 18 ページ)
 - 温水温度の設定方法 (P. 20 ページ)

2 便フタを閉じる

3 節電を解除する



- ✎ 補足
- 節電の設定方法 (P. 24 ページ)

4 室内をあたためる

室内を暖房できない場合

■自動で水を流す (流動方式)

使用していない間、ロータンク内の水が絶えず便器内に流れるようにして、凍結を防ぎます。

「温度を高くしてあたためる (本ページ)」の手順 1～3 をしたあとに、次の手順を行ってください。

- ⚠ 注意
- 給水ホースに熱湯や熱風をかけない (破損の原因)
- ✎ 補足
- 次にトイレを使用する前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから「ご使用前の準備と確認」の「はじめてトイレをご使用になる前に」の手順に従ってください。(P. 13 ページ)
 - 給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出ししない場合は、温かいお湯に浸した布などで給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

1 便器本体の流動ハンドルを操作する

- ✎ 補足
- 詳しくは、便器の取扱説明書をご参照ください。
 - 次にトイレを使用する前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから「ご使用前の準備と確認」の「はじめてトイレをご使用になる前に」の手順に従ってください。(P. 13 ページ)

凍結しそうなとき

■配管や本体などから水を抜く（水抜き方式）

トイレ本体の水を抜いて凍結を防ぎます。
「温度を高くしてあたためる（39 ページ）」の手順 **1～3** をしたあとに、次の手順を行ってください。

- ⚠ 注意 | • 給水ホースに熱湯や熱風をかけない（破損の原因）
- ✍ 補足 | • 給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

1 室内をあたためる

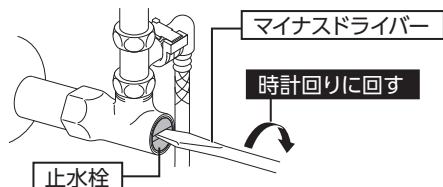
- ✍ 補足 | • 室内が暖房できる場合

2 建物の水抜栓を操作して、配管内の水を抜く

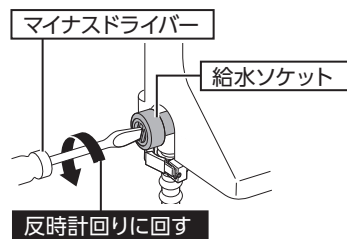
- ⚠ 注意 | • 水抜栓を操作する場合は、止水栓を閉めない
- ✍ 補足 | • 水抜栓の詳しい操作方法は、水抜栓の取扱説明書をご参照ください。

3 洗浄ハンドルを[大]に回して、ロータンク内の水を抜く

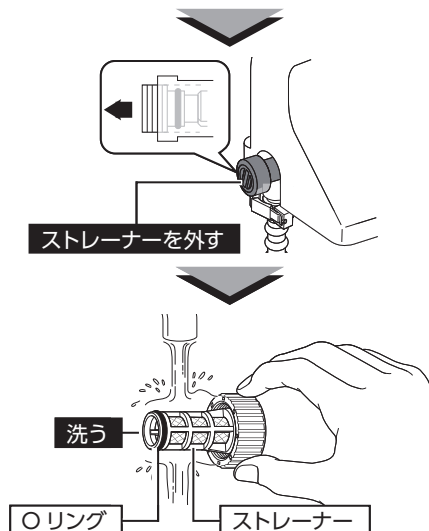
4 止水栓を閉める



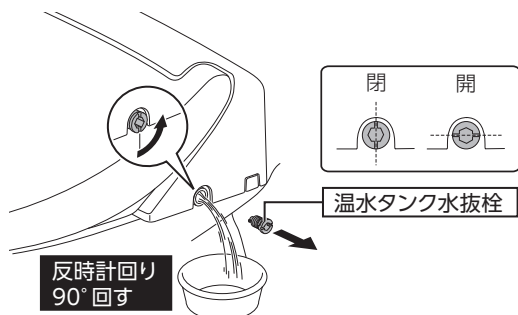
5 本体から水を抜く



- ✍ 補足 | • 給水ソケットを手で支えながら行ってください。
- 取り外すときは水受け（約 1L 以上入るもの）を用意してください。



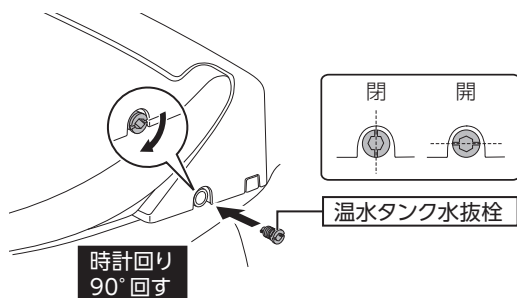
6 温水タンクから水抜栓を外して、水を抜く



- ✍ 補足 | • 取り外すときは水受け（約 1L 以上入るもの）を用意してください。

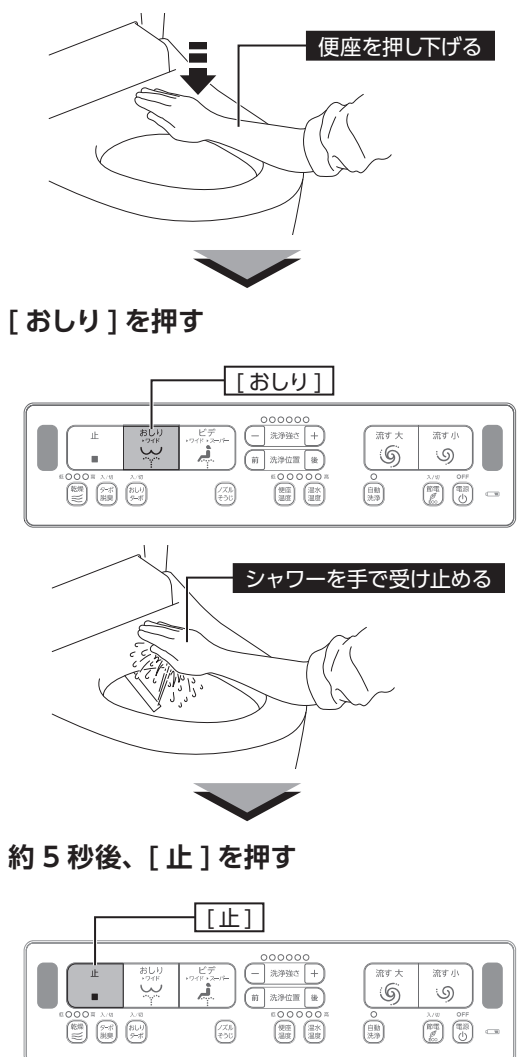
凍結しそうなとき

7 水抜き完了後、水抜き栓を取り付ける



8 水抜き栓部から水漏れしていないことを確認する

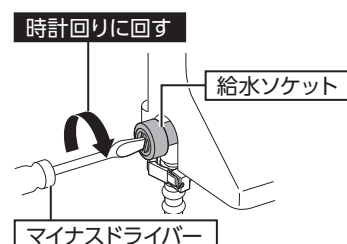
9 本体バルブ内の水を抜く



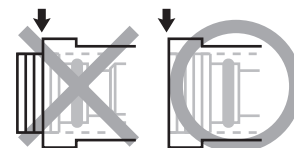
10 給水ホースから水を抜く

- ✎ 補足
- 「本体を取り外す」の手順 3 ～ 5 を行ってください。(P. 43 ページ)

11 「ストレーナー」を取り付ける



- ✎ 補足
- 給水ソケットを手で支えながら行ってください。
 - 取り付け部分に段差がなくなるまで締め付けてください。



12 止水栓部から水漏れしていないことを確認する

- ✎ 補足
- 次にトイレを使用する前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから「ご使用前の準備と確認」の「はじめてトイレをご使用になる前に」の手順に従ってください。(P. 13 ページ)

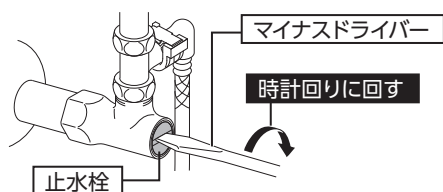
長期間使用しないとき

長期間使用しないときの対応について

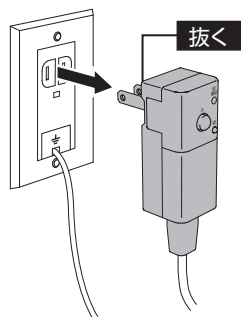
長期間使用しない場合、基本的な対応の他にそれぞれの場合で対応方法があります。
故障発生時に被害が大きくなる恐れがありますので、必ず対応を行ってください。

基本的な対応

1 止水栓を閉める



2 電源プラグをコンセントから抜く



水抜きをする

■旅行で長期間不在にする場合

■別荘に設置している場合

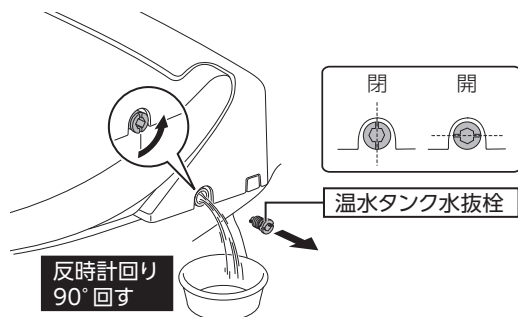
水が汚れて詰まったり、凍結したりする恐れがあります。水抜きをしてください。

1 止水栓を閉める

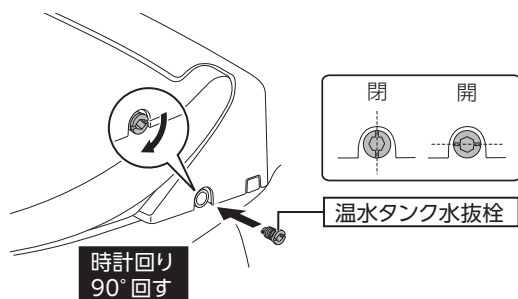
2 洗浄ハンドルを[大]に回して、ロータンク内の水を抜く

3 電源プラグをコンセントから抜く

4 温水タンクから水抜き栓を外して、水を抜く



5 水抜き完了後、水抜き栓を取り付ける



長期間使用しないとき

6 水抜栓部から水漏れしていないことを確認する

- ✍ 補足
- ・次にトイレを使用する前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから「ご使用前の準備と確認」の「はじめてトイレをご使用になる前に」の手順に従ってください。(P. 13 ページ)

■凍結する恐れがある場合

7 配管や本体などから水を抜く

- ✍ 補足
- ・「配管や本体などから水を抜く(水抜き方式)」の手順 5 の次に手順 9 以降を行ってください。(P. 40 ページ)

8 電源プラグをコンセントから抜く

引っ越しなどで本体を移設するとき

■本体を取り外す

■フルオート便器洗浄付きの場合

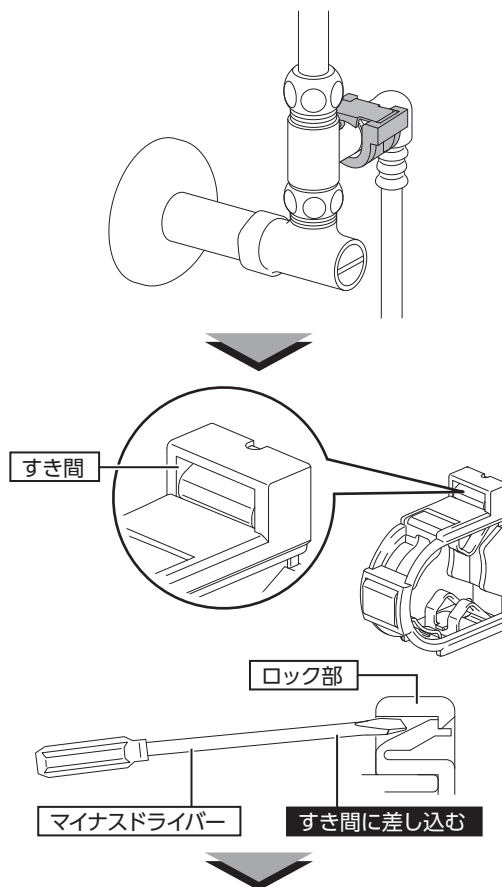
安全のため、お客さまが取り外しできません。LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。(裏表紙)

1 止水栓を閉める

2 給水ホース内の圧力を抜く

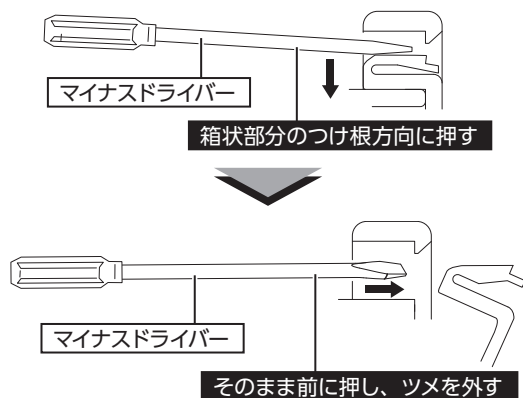
- ✍ 補足
- ・「配管や本体などから水を抜く(水抜き方式)」の手順 9 を行ってください。(P. 40 ページ)

3 給水ホースのクイックファスナーを外す



引っ越しなどで本体を移設するとき

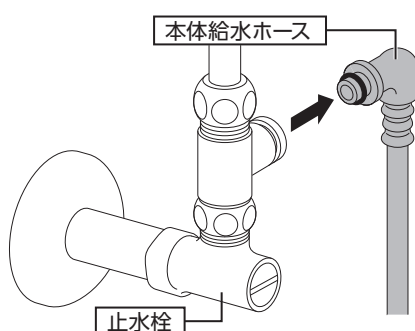
3



- ✍ 補足
- 前に押すとき、マイナスドライバーを少しひねりながら行くと、押しやすくなります。

4

給水ホースを外す



5

給水ホース内部から完全に水を抜く

6

電源プラグをコンセントから抜く

7

温水タンクから水を抜く

- ✍ 補足
- 「水抜きをする」の手順 4～6 を行ってください。(※ 42 ページ)

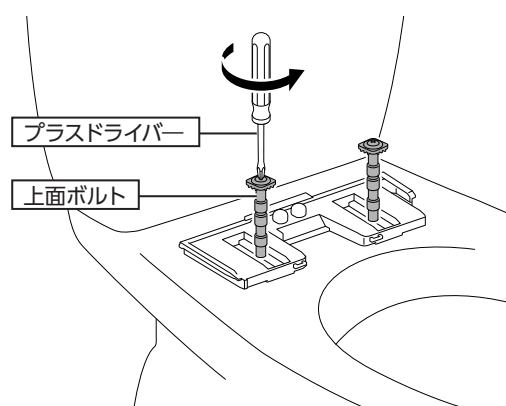
8

本体を取り外す

- ✍ 補足
- 「本体を手前に動かして掃除する(本体スライド着脱)」の手順 4 を行ってください。(※ 30 ページ)

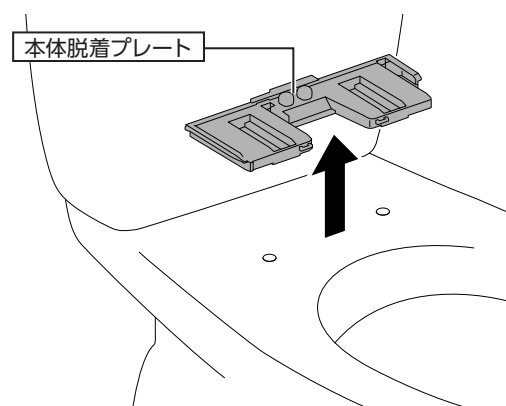
9

上面ボルトを取り外す



10

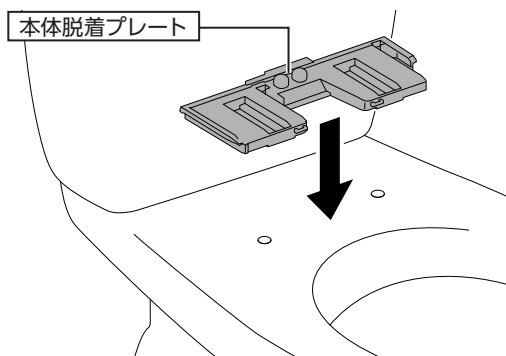
本体着脱プレートを取り外す



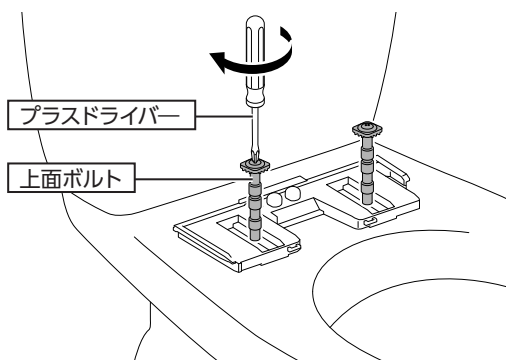
引っ越しなどで本体を移設するとき

本体を取り付ける

1 本体着脱プレートを取り付ける



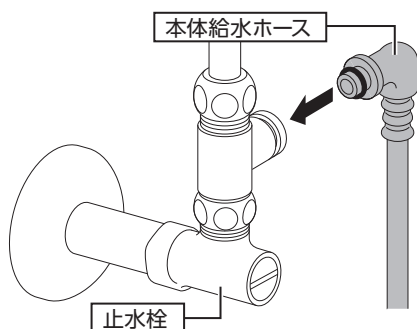
2 上面ボルトを取り付ける



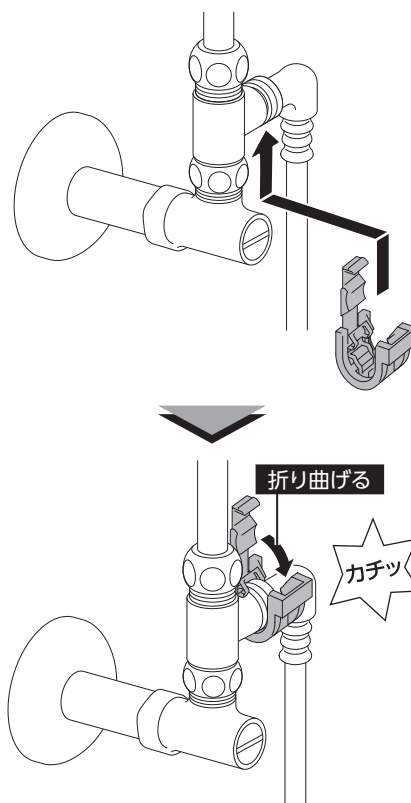
3 本体を取り付ける

✂ 補足 | • 隠れた部分のお手入れ (P. 30 ページ)

4 止水栓と給水ホースを取り付ける



5 クイックファスナーを取り付ける



6 クイックファスナーを回し、外れないことを確認する

7 給水ホースを軽く引き、外れないことを確認する

リモコンの電池が切れたとき

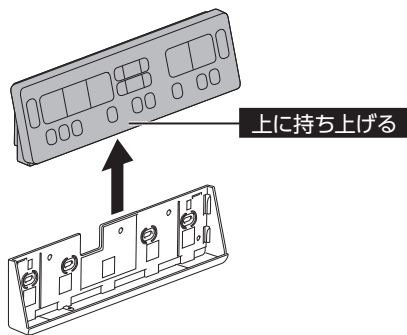
リモコン電池切れについて

リモコンの電池が消耗すると、「電池表示」が点滅します。電池を交換してください。

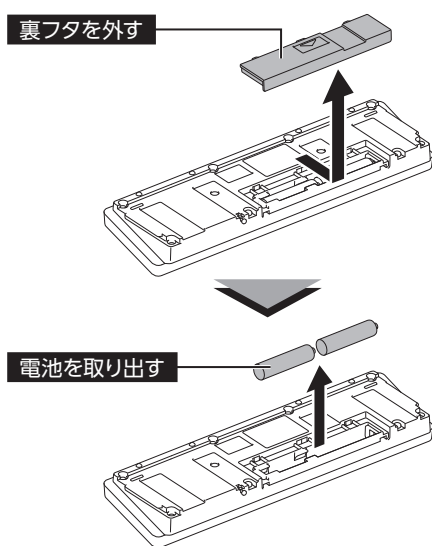
✎ 補足 | • 壁リモコンの場合、ボタンを操作するたびに一定時間点滅します。

壁リモコンの電池を交換する

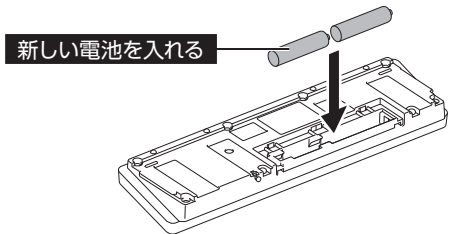
1 壁リモコンをホルダーから外す



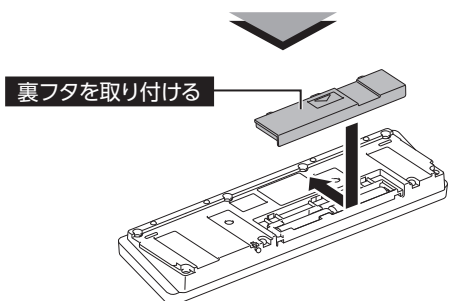
2 電池を取り出す



3 新しい電池を入れる

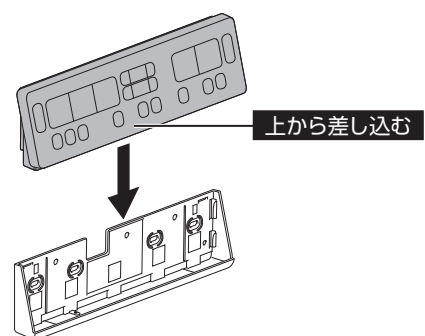


✎ 補足 | • 1.5V アルカリ乾電池 単三形を2本使用します。



✎ 補足 | • 必ず裏フタのツメをひっかけて取り付けてください。

4 壁リモコンをホルダーに差し込む



フルオート便器洗浄ユニット (本体)を取り付けるとき

フルオート便器洗浄ユニットについて

「フルオート便器洗浄ユニット」が付いている場合、または付けたい場合の取付方法です。

✂ 補足 | トイレ本体各部の名称 (P. 10 ページ)

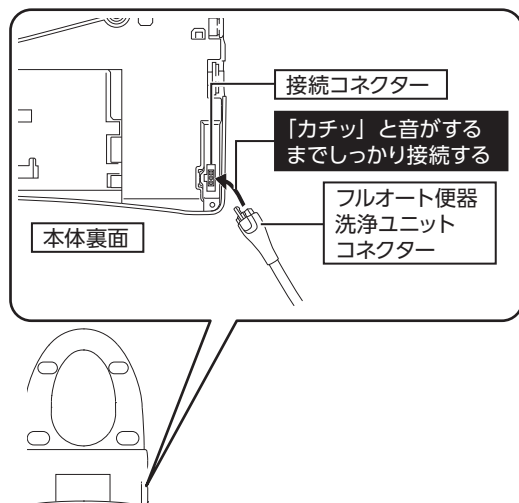
本体と便器洗浄ユニットのコネクターを 接続して取り付ける

1 本体を取り外す

✂ 補足 | 隠れた部分のお手入れ (P. 30 ページ)

2 便器の上に本体を立てる

3 コネクター同士を接続する



4 本体を取り付ける

✂ 補足 | 隠れた部分のお手入れ (P. 30 ページ)

洗浄水が流れない・ 流れたままのとき

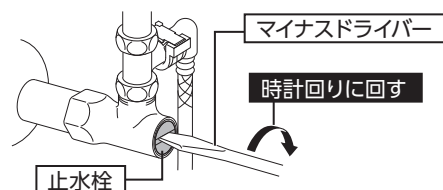
ロータンク内部の不具合について

洗浄ハンドルを回しても洗浄水が流れない、流れたままになっているなどの不具合は、ロータンク内にあるフロート弁・鎖の調節不足が考えられます。調節してください。

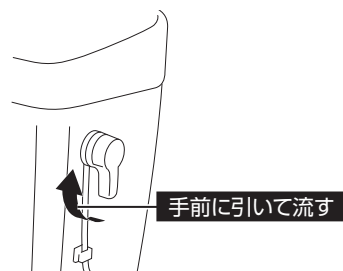
✂ 補足 | タンクフタの取り付け、取り外し、フロート弁・鎖の調節方法は一例です。詳しくはロータンクの取扱説明書をご参照ください。

ロータンクのフタを取り外す

1 止水栓を閉める



2 ロータンク内の水を抜く

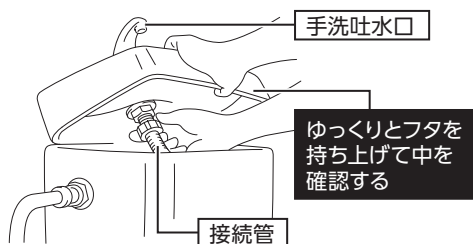


✂ 補足 | 洗浄水が流れない場合は、タンクのフタを外して中の水を汲み出すか、フロート弁の鎖を引っ張って、水を流してください。

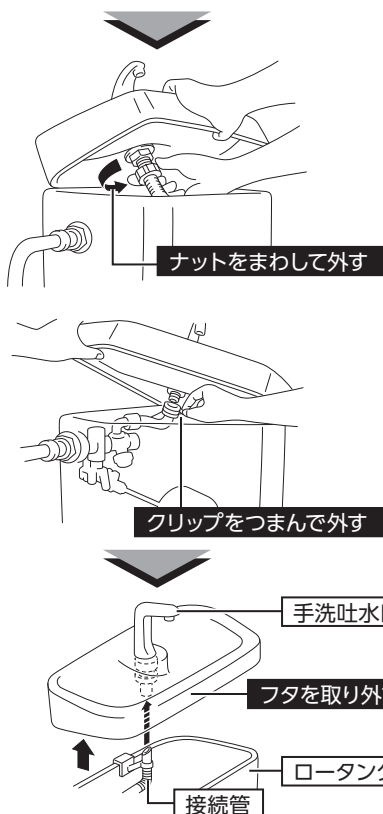
洗浄水が流れない・流れたままのとき

3 フタを取り外す

- ✍ 補足
- 手洗吐水口が付いている場合は、次の手順に従って取り外してください。



- ✍ 補足
- 手洗吐水口と接続管が、ナットまたはクリップで接続されていることを確認してください。
 - ナットまたはクリップがない場合もあります。

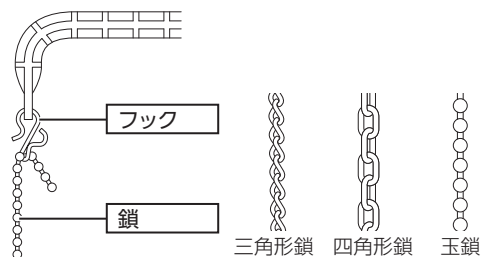


4 ロータンク内の鎖の形状を確認する

フロート弁・鎖を調節する

ロータンクのフタを取り外したあとの手順です。

■鎖が1本の場合

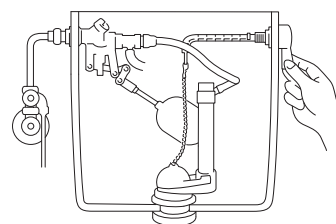


1 フロート弁・鎖の状態を確認する

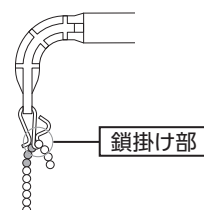
現象	洗浄水が流れない		流れっ放し
	鎖が外れている	鎖がたるんでいる	鎖が張りすぎ
原因	外れている 上がらない	たるみすぎ ハンドルを回しても上がらず、洗浄しない	張りすぎ 浮いている

2 レバーの先端を垂直にたらしのまま、フロート弁が上がらない程度に鎖を張る

- ✍ 補足
- ストッパーがないタイプは、フロート弁が最も持ち上がる位置まで鎖を引き上げてください。

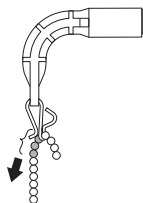


3 鎖をフックの鎖掛け部に合わせる



洗浄水が流れない・流れたままのとき

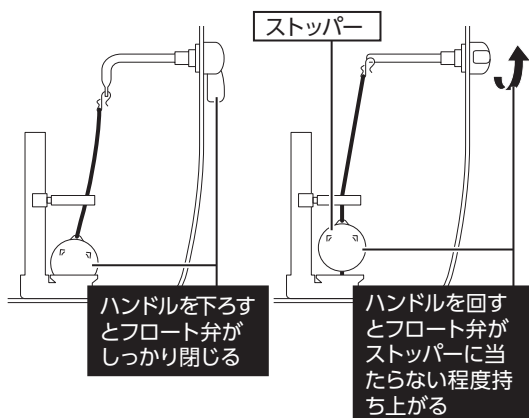
4 鎖を合わせた位置からゆるめる



鎖の形状	ゆるめる個数
三角形鎖 玉鎖	2 個～3 個程度
四角形鎖	1 個程度
ストッパーなし	3 個～4 個程度

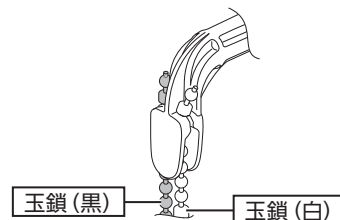
5 洗浄ハンドルを操作して、レバーおよびフロート弁がスムーズに動くことを確認する

6 玉鎖が適切な長さになっているか確認する

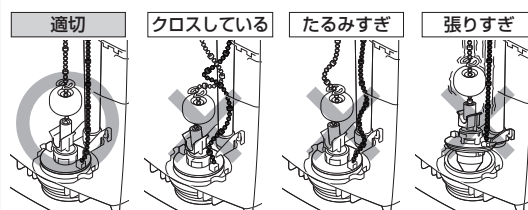


- …お願い
- 鎖やレバーが浮玉など他のものに触れたり、引っ掛かりがないようにしてください。(十分に水が流れなかったり、水が流れたままになる原因)

■鎖が 2 本の場合

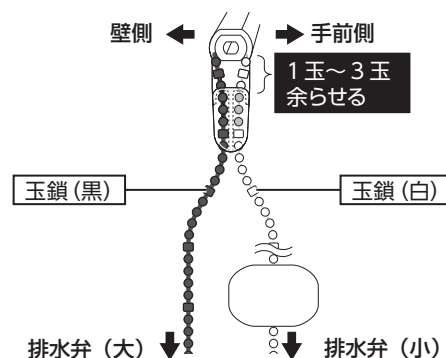


1 フロート弁・鎖の状態を確認する

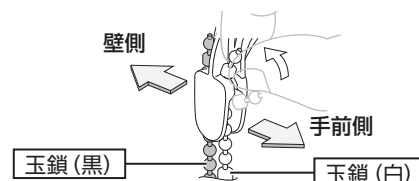


2 レバーの先端を垂直にたらしのまま、フロート弁が上がらない程度に鎖を張る

3 玉鎖をハンドルに取り付ける

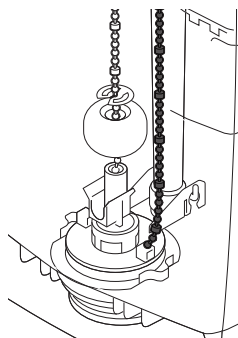


- …お願い
- 玉鎖は手前側が白、壁側が黒になるように取り付けてください。(反対に取り付けると、洗浄不良の原因)

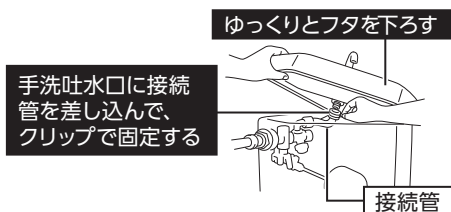


洗浄水が流れない・流れたままのとき

4 玉鎖が適切な長さになっているか確認する

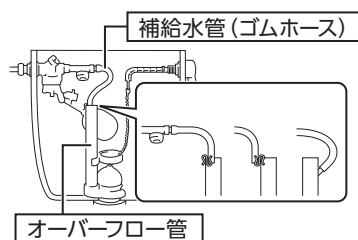


2 クリップで固定するタイプ

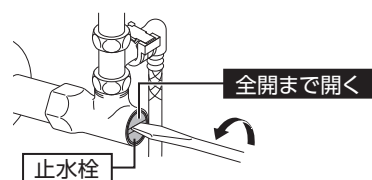


ロータンクのフタを取り付ける

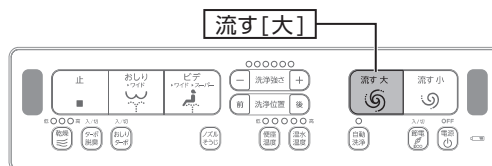
1 補給水管がある場合、オーバーフロー管に固定されていることを確認する



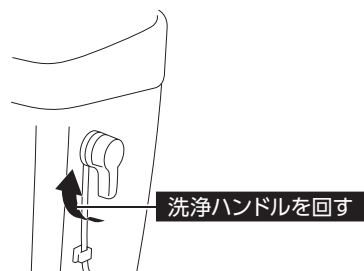
3 止水栓を開ける



4 正常に洗浄水が流れることを確認する



または

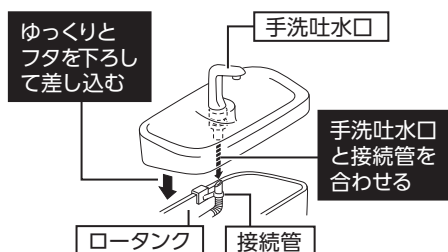


●お願い ● 水がロータンクから漏れる、水が出ない場合は、すぐに止水栓を閉めてタンクのフタを取り付け直してください。

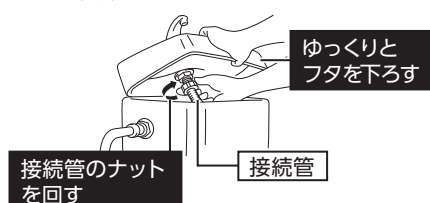
2 フタを取り付ける

✂ 補足 | 手洗吐水口が付いている場合は、次の手順に従って取り付けてください。

差し込むタイプ



ナットで接続するタイプ



5 十分に水が流れない、水が流れたままの場合は、再度鎖を調節する

よくあるお問い合わせ

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に次の項目を確認してください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよく確認してください。

全機能

現象	原因	処置	処置ページ
すべての機能が動作しない (本体表示部の電源ランプが点灯しない)	電源コンセントに電気がきていない。	停電、ブレーカーなどを確認してください。	—
	電源が「切」になっている。	リモコンの[電源]を押してください。	12
	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	13
	漏電している。(電源プラグの表示ランプが点灯している)	電源プラグのリセットボタンを押してください。それでもランプが点灯する場合は、漏電しています。電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。	裏表紙
	100V 以外の電圧がかかっている。	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。	裏表紙
リモコンのボタンを押しても動作しない (本体表示部の電源ランプは点灯している)	リモコンの電池が消耗している。 ([電池表示] 点滅※) ※ リモコンが本体のリモコン受光部と反対側の壁に設置してある場合や、部屋の広さ、壁の仕上げや色(特に黒っぽい色)などにより、「電池表示」が点滅する前に使用できなくなる場合があります。(信号が弱くなるため)	新しい電池に交換してください。	46
	リモコンの「電池表示」が点滅している。		46
	リモコン内の電池の⊕⊖の方向が間違っている。	正しい方向に入れてください。	46
	壁リモコンの送信部、または本体のリモコン受光部を体で遮っている。	リモコンをホルダーから外し、リモコンの送信部を本体のリモコン受光部に向けて[止]を押してください。本体表示部の電源ランプが点滅した場合は、商品の異常ではありません。	—

よくあるお問い合わせ

全機能 (つづき)

現象	原因	処置	処置ページ
リモコンのボタンを押しても動作しない (本体表示部の電源ランプは点灯している)	リモコンの送信部、または本体のリモコン受光部が汚れているか、水が付いている。	汚れや水を取り除いてください。	—
	インバーター照明を使用している。	照明を消して動作を確認してください。正常に動作した場合は、商品の異常ではありません。	—
	リモコンの送信部、または本体のリモコン受光部に太陽光が当たっている。	太陽光が直接当たらないようにしてください。	—
	リモコンのスイッチを押すとリモコンの「OFF」ランプが点灯する。	「電源」を押して、リモコン電源を「ON」にしてください。	12

おしり洗浄・ビデ洗浄

現象	原因	処置	処置ページ
シャワーが出ない	止水栓が閉じている。	止水栓を開けてください。	13
	ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーを掃除してください。	38
	洗浄強さが最弱付近になっている。	洗浄強さ[+]を押してください。	20
	前かがみになったり、前寄りに座ったりしている。	便座後部の着座スイッチが、着座を検知しなければ、シャワーは出ません。座り方によっては、着座を検知できないことがありますので、便座に深く座るなど、座りかたを変えてください。	9
	温水タンクが満水になっていない。	ご使用前の準備と確認を行ってください。	13
	使用中に電源を切った。	電源を入れ直してください。	—
以前使用していた機種とのシャワーと異なる	他機種からの買い換えの場合、製品の構造が異なるため、交換前のものに比べて以下のような場合があります。 ・シャワーが出るまでの時間が長い ・シャワーがあたる位置や角度に違いが感じられる ・シャワーが強く感じられる、または弱く感じられる そのような場合は製品の特性であり、故障ではありません。		—

よくあるお問い合わせ

おしり洗浄・ビデ洗浄 (つづき)

現象	原因	処置	処置ページ
シャワーが温かくない	温水温度が適当な温度に調節されていない。	温水温度を適当な温度に調節してください。	20
	長時間洗浄している。	約 10 分で温かくなります。貯湯式のため、洗浄の使用時間に応じてシャワーの温度が低下しますが、異常ではありません。	—
	節電が「入」になっている。	節電を解除します。	24
	給水温度やトイレの室温が低い。	故障ではありません。冬場などはシャワーの始めの温度が低い場合があります。	—
シャワーが途中で止まる	途中で腰を浮かせるなど姿勢を変えて着座スイッチを入りにくくしている。	便座に深く座るなど、座りかたを変えてください。	9
シャワーが弱い	洗浄強さが「弱」になっている。	洗浄強さの [+] を押してください。	20
シャワーの向きがおかしい	ノズル先端の向きが正しくない。	ノズル先端を正しい向きに取り付けてください。	33
ノズルが出てこない・ノズルが出っぱなしになっている	使用中に電源を切った。	電源を入れ直してください。	—

暖房便座

現象	原因	処置	処置ページ
便座が温かくない	便座温度が適当な温度に調節されていない。	便座温度を適当な温度に調節してください。	18
	節電機能が作動している。	節電を解除してください。	24
	省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としております。使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。トイレを使用しないときは便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。		—
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いている。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除してください。	18

よくあるお問い合わせ

暖房便座 (つづき)

現象	原因	処置	処置ページ
長く座っていると便座がぬるくなる	1 時間以上便座に座っている。	便座から一度立ち上がり、座り直してください。1 時間以上座り続けると、暖房便座が自動的に「切」の状態になります。	—
便座の側面が冷たい	便座の暖房機能は、便座上面を温めることを目的としているため、側面に触れると冷たく感じる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		—

脱臭

現象	原因	処置	処置ページ
脱臭ファンが回りっぱなしになる	便フタカバーを使用している。(着座スイッチが入りっぱなしになっている。)	便フタカバーを外して使用してください。	—
脱臭ファンが回らない	自動脱臭が「切」になっている。	脱臭を「入」にしてください。	23
	2 時間以上便座に座っている。	便座を掃除したり、便座から一度立ち上がり、座り直してください。2 時間以上検知し続けると、脱臭ファンが自動的に「切」の状態になります。	—
脱臭効果が弱くなった (においが気になる)	脱臭カートリッジにホコリや汚れが付着している。	脱臭カートリッジを掃除してください。	36
	長期間使用している。	脱臭カートリッジを交換してください。脱臭カートリッジには寿命があり、約7年で効果がなくなります。	62

鉢内スプレー

現象	原因	処置	処置ページ
鉢内スプレーが動作しない	鉢内スプレーを「切」にしている。	鉢内スプレーを「入」にします。	21
	便座から立ち上がった直後である。	鉢内スプレーは、立ち上がってから約 80 秒以内に座った場合は噴出しません。便鉢内が湿った状態であれば鉢内スプレーの効果は残っていますので、そのままご使用ください。	21

よくあるお問い合わせ

便器洗浄〈フルオート便器洗浄付の場合〉

現象	原因	処置	処置ページ
フルオート便器洗浄部： ・自動で動かない ・「大」「小」時、逆方向に動く ・動作中に異音がする	フルオート便器洗浄が「切」になっている。	フルオート便器洗浄を「入」にしてください。	22
	フルオート便器洗浄ユニットのコードが外れている。	コネクターを接続してください。	47
	フルオート便器洗浄ユニットの設定（モード）が便器に合っていない。	「フルオート便器洗浄ユニット」の施工説明書をご参照ください。モードの設定を変更するか、お求めのシャワートイレ取扱店に連絡してください。	—
	着座スイッチが検知していない。	便座に深く座るなど、座りかたを変えてください。	9

温風乾燥

現象	原因	処置	処置ページ
温風が出ない	着座スイッチが検知していない。	便座に座ってください。 座り方によっては、便座後部の着座スイッチが着座を検知できないことがありますので、便座に深く座るなど、座りかたを変えてください。	9
	前かがみになったり、前寄りに座ったりしている。	便座後部の着座スイッチが、着座を検知しなければ、温風は出ません。 座り方によっては、着座を検知できないことがありますので、便座に深く座るなど、座りかたを変えてください。	9
温風が温かくない	温風乾燥が適当な温度に調節されていない。	温風乾燥を適当な温度に調節してください。	21
	使用条件により、温度の感じ方に差が出る場合があります。温風温度は国際電気標準会議 (IEC) 基準に準拠しています。 (IEC:International Electrotechnical Commission)		—
温風が途中で止まる	4 分以上使っている。	もう一度 [乾燥] を押してください。	21

よくあるお問い合わせ

その他

現象	原因	処置	処置ページ
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより、便座裏に水滴が付着した。	こまめにふき取ってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。	—
本体がガタつく、ずれる	本体がロックされていない。	本体をしっかり押し込んでください。	30
	本体着脱プレートがゆるんでいる。	本体着脱プレートの固定ボルトを、締め付け直してください。	45
本体から「グググッ」と音がする ・電源プラグを差し込んだとき ・シャワーを止めたとき ・ノズルそうじをしたとき	故障ではありません。シャワートイレが正常に作動するために、モーターが動いている音です。洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に異常がなければ、問題ありません。		—
本体表示部の電源ランプが点滅している	いずれかの機能に不具合が生じている。	電源を「切」にしても点滅している場合は、故障しています。コンセントから電源プラグを抜いて、修理を依頼してください。	裏表紙
本体表示部の点検ランプが点灯している	点検時期が来ている。	点検時期ですので、お早めに点検をお受けください。	59
・便座がガタつく ・便座裏にある足が便器についていない	故障ではありません。便座が上下する構造のため、便座の足と便器の間にすき間があります。便座前足の片側のみが、便器につく設計になっています。		—
シャワートイレ本体と陶器のすき間が空いている	故障ではありません。焼きものならではの個体差により、すき間が空いて見える場合があります。そのままご使用ください。		—
座ると便座からカチッと音がする	故障ではありません。便座に座ると着座スイッチが入り、カチッと音がします。		—
漏水している	ストレーナーが緩んでいる。	ストレーナーを締めてください。	38
	ストレーナーにゴミが付着している。	ストレーナーを掃除してください。	38
	温水タンク水抜栓が緩んでいる。	温水タンク水抜栓を締めます。	42
	湿度が高く結露した。	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。	—
お買い上げ時の設定に戻したいとき	初期設定に戻す操作をしてください。設定を変更した機能を、全てお買い上げ時に戻します。		26

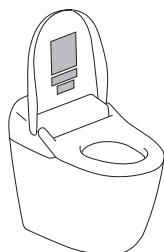
製品の長期使用について

製品の長期使用に関する本体表示

■本体への表示内容

経年劣化により事故に至る恐れがあることをお知らせするために、本体に次の内容の表示をしております。

- ・製造年（本体に西暦 4 桁で表示）
- ・注意表記



▲ 警告 想定安全使用期間 10 年

想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至る恐れがあります。

■想定安全使用期間とは

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

- ✎ 補足
- ・一般家庭用以外（事務所、病院等、不特定多数の方が使用される場所）に設置された場合は、使用条件により、想定安全使用期間よりも早い時期に劣化する恐れがあります。

■標準仕様条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 規格票による
	給水温度	15℃・0.2MPa	JIS A4422 規格票による
負荷条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	—
想定時間	4 人家族（男性 2 人、女性 2 人）において、大便：1 回 / 日・人、小便男性：4 回 / 日・人、小便女性：4 回 / 日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする。		JIS A4422 規格票による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

■経年劣化について

「経年劣化」とは、長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

製品の長期使用について

重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

ご自宅の温水洗浄便座、
何年お使いですか？
故障していませんか？

長年のご使用や故障したままのご使用は、
電子・電気部品が劣化して発煙・発火などの恐れがあります。



温水洗浄便座を安全に使う3つのポイント

①

定期的な点検を
おすすめします。
まずは自分で
安全チェックを。

安心してご使用いただくため、定期的
な点検(有料)をおすすめします。

②

リコール製品や
故障した製品は
使わない
でください。

発煙・発火などの原因になります。す
ぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉め
てご使用を中止してください。

③

長期間お使いの
製品は点検と
買い替えを
ご検討ください。

長期間(10年以上)ご使用の温水洗
浄便座は買い替えをご検討ください。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> トイレが焦げ臭いなどいつもと違うにおいがする。 | <input type="checkbox"/> 便座にひびや割れがある。 |
| <input type="checkbox"/> 便座がときどき冷たい(節電中は除く)。 | <input type="checkbox"/> 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている。 |
| <input type="checkbox"/> 便座が異常に熱いときがある。 | <input type="checkbox"/> 電源プラグやコードの発熱や焦げ、変色がある。 |
| <input type="checkbox"/> お湯や温風が異常に熱い、または冷たいときがある。 | <input type="checkbox"/> 製品や便器を伝って水漏れしている。 |
| <input type="checkbox"/> 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある。 | <input type="checkbox"/> 使うときだけ少量の水がたれて水漏れしている。 |
| <input type="checkbox"/> 便座コードの発熱やねじれ、キズ、挟み込みがある。 | |

上記症状は、発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、
販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

発行元： 一般社団法人
日本レストルーム工業会

<https://www.sanitary-net.com/>

トイレナビ

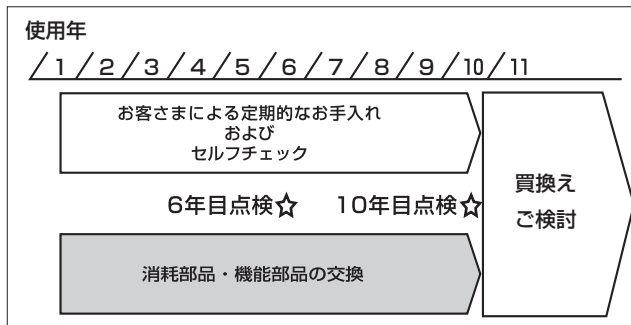
検索



詳細はこちらを
ご覧ください

点検・交換をする

定期点検・部品交換などの目安



有料点検のおすすめ

有料となりますが、当社では各種点検をご用意しています。

有料点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。

✎ 補足 | • 点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

■6 年目点検（逆流防止装置の点検）

逆流防止装置が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。

「6 年目点検」として、逆流防止装置点検を受けていただくことをおすすめします。

また、「あんしん点検」も併せて受けていただくことをおすすめします。

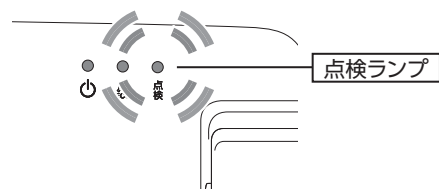
有料点検のおすすめ（つづき）

■10 年目点検（点検ランプ点灯時）

製品を約 10 年ご使用いただくと点検ランプが点灯します。これは機器の故障ではなく、お客さまに安心してご使用いただくための機能です。

長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障がないかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。

この機会に「10 年目点検（おまかせ点検）」を受けていただくことをおすすめします。



✎ 補足 | • ご使用条件により、点検ランプの点灯時期は異なります。（※ 57 ページ）
• お客さまによる操作ではこの表示を消灯することはできません。LIXIL トータルサービスのサービス員による「10 年目点検（おまかせ点検）」をお受けいただき、安全を確認した上で消灯いたします。

■点検

補修用性能部品の保有期間（63 ページ）内であれば、定期点検の時期にかかわらず、お客さまのご希望の時期に、サービス員が確認する「あんしん点検」をご用意しています。

日々のセルフチェックでは確認できない本体内部を含む製品の状況をサービス員が点検することで、安心してご使用いただけます。

✎ 補足 | • 点検の内容は「10 年目点検（おまかせ点検）」と同じです。

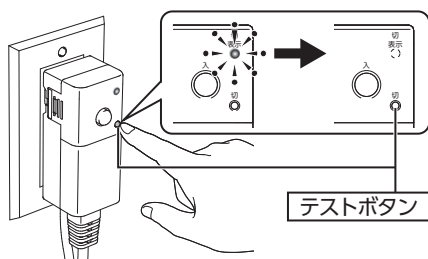
点検・交換をする

電源プラグを点検する

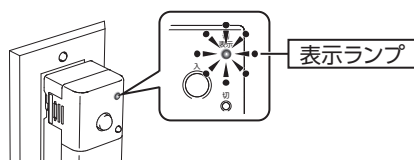
点検の目安 月に1～2回程度

電源プラグには漏電保護機能が付いています。電源プラグの故障は、思わぬ事故につながる可能性があります。次の手順で点検してください。

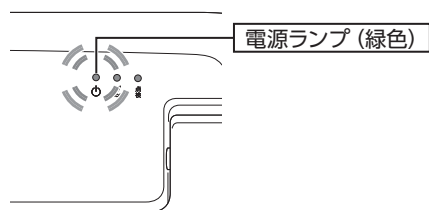
1 本体の電源が「入」の状態、電源プラグの「テストボタン」を押す



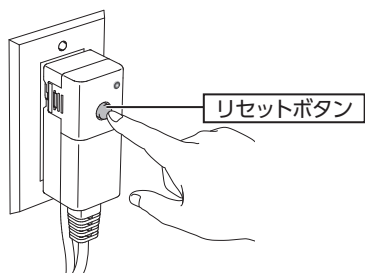
2 「表示ランプ」の点灯を確認する



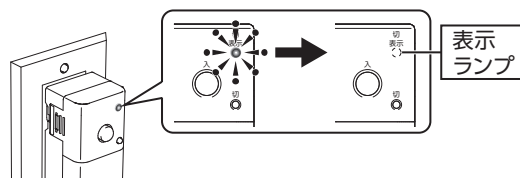
3 「電源ランプ」の消灯を確認する



4 電源プラグの「リセットボタン」を押す



5 「表示ランプ」の消灯を確認する



補足 | この点検をすると、ワンタッチ節電の設定が解除されます。

点検・交換をする

セルフチェックをする

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身で行うことができます。次の表をもとに、定期的な点検をお願いいたします。

- ▲ 警告
- ・セルフチェック表の1項目でも該当する場合は、次のことをする
 - ・コンセントから電源プラグを抜く
 - ・止水栓を閉める
 - ・販売店か工事店または LIXIL 修理受付センターに連絡する
(火災・感電・室内浸水の原因)

- お願い
- ・セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。
 - ・セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

- ✎ 補足
- ・点検目安は当社おおすすめの期間です。

セルフチェック表

状況	点検目安	実施日							
便座・便座コードのチェック表									
<input type="checkbox"/> 本体や便座にひびや割れがある	年 2 回以上	/	/	/	/	/	/	/	/
<input type="checkbox"/> ゴム足が外れている	年 2 回以上	/	/	/	/	/	/	/	/
<input type="checkbox"/> 便座が異常に熱いときや冷たいときがある	月 1 回	/	/	/	/	/	/	/	/
<input type="checkbox"/> 便座がスムーズに開閉できない	年 2 回以上	/	/	/	/	/	/	/	/
<input type="checkbox"/> 便座のガタツキがある	年 2 回以上	/	/	/	/	/	/	/	/
水漏れのチェック表									
<input type="checkbox"/> 水漏れしている	年 2 回以上	/	/	/	/	/	/	/	/
● お願い • 同時に、不具合がないことを 確認してください。									
電源コード・電源プラグのチェック表									
<input type="checkbox"/> 電源コードが熱くなっている	月 1 回	/	/	/	/	/	/	/	/
<input type="checkbox"/> 傷んだり、挟み込んだりしている	月 1 回	/	/	/	/	/	/	/	/
<input type="checkbox"/> シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障（異臭・異音）している	月 1 回	/	/	/	/	/	/	/	/
<input type="checkbox"/> 電源プラグにほこりがたまっている たまっている場合は、ほこりを取り除いてください。	月 1 回	/	/	/	/	/	/	/	/

点検・交換をする

別売品を購入する

当社では、快適なトイレ空間作りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。別売品の購入、お問い合わせは裏表紙をご参照ください。

LIXILストア

別売品をWEBで購入

LIXILストア

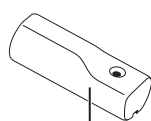
検索

<https://store.lixil.co.jp/>

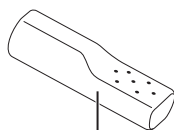


■おしりノズル先端 (品番：CWA-323) / ビデノズル先端 (品番：CWA-324)

汚れが気になるときに交換できます。ノズル先端をいつも清潔に保てます。(※ 33 ページ)



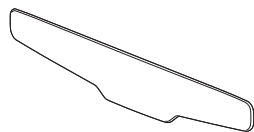
おしりノズル先端



ビデノズル先端

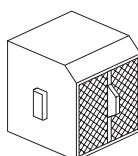
■ノズルシャッター (品番：CWA-322)

汚れが気になるときに交換できます。ノズルまわりをいつも清潔に保てます。(※ 35 ページ)



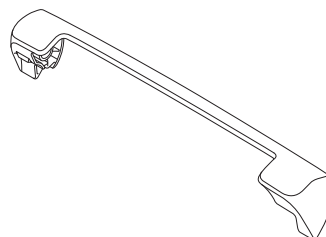
■脱臭カートリッジ (品番：CWA-29)

脱臭モードでトイレの臭いを取るためのものです。交換するだけで、簡単に脱臭効果がもどります。脱臭カートリッジの寿命は、約 7 年です。(※ 36 ページ)



■便座ストッパー (品番：CWA-321)

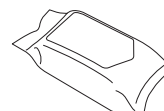
便フタを外してご使用する場合にご購入ください。



✎ 補足 | 便座ストッパーをご使用の際、スーパー節電機能は使用できません。

■トイレ用おそうじティッシュ (品番：CWA-36-4SET)

プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。使用后、便器にそのまま流せます。(※ 28 ページ)



■シャワートイレお掃除クリーナー (品番：CWA-20)

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。(※ 28 ページ)



修理を依頼する

修理を依頼する前に

故障ではない場合があります。「よくあるお問い合わせ」(P. 51 ページ) をご参照ください。
それでも解消されない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

- お問い合わせ
・ 次の場合は、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。
 - ・ 取扱説明書どおりに使用しても不明な点がある
 - ・ コードの痛みやコンセントのガタつきがある
 - ・ コンセントや電源プラグ、コードの過熱

■他社製ロータンクにフルオート便器洗浄ユニットを取り付けている場合

ロータンク内の部品による不具合・故障は、フルオート便器洗浄ユニット以外の部品が原因の場合、保証の対象外です。

- ✍ 補足
・ フルオート便器洗浄ユニットとは、自動で便器を洗浄するためのユニットのことです。洗浄ハンドルからモーター部、ハンドルレバーまでを示しています。それ以外の部品（鎖・フロートゴムなど）は、保証の対象外です。

保証書を確認する

点検の目安 取付日から 2 年間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。

- お問い合わせ
・ 記載内容を確認していただき、大切に保管してください。
- ✍ 補足
・ 保証期間内でも有料になることがあります。

修理を依頼する

■保証期間中の修理

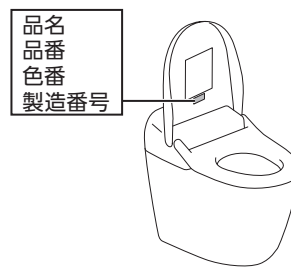
修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。料金の内訳は、技術料 + 出張料 + 部品代です。

■連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
(便フタ裏または製品本体に貼ってある表示をご覧ください。)
3. お取付日(保証書をご参照ください。)
4. 故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)
5. 訪問ご希望日



- ✍ 補足
・ ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体に貼ってある表示が必要となります。決してはがさないようにしてください。

■補修用性能部品の保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の保有期間は、製造中止後 12 年です。

点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承ください。

- ✍ 補足
・ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

■各種お問い合わせ先

裏表紙をご参照ください。

保証を延長する

延長保証について

通常、保証期間は 2 年間ですが、リクシルオーナーズクラブへの会員登録をされますと無料でさらに 1 年延長されます。

- ✍ 補足
- 詳しくはご購入時にお渡しの「リクシルオーナーズクラブご登録（所有者登録）のお願い」をご参照ください。
 - 非住宅でご使用の場合は、WEB からの登録のみとなります。

リクシルオーナーズクラブに登録する

■WEB で登録する場合

1 お客さまの製品情報を確認する



2 スマートフォンかパソコンから、次の URL にアクセスする <https://lixil.to/locw01>

• こちらからでもアクセスできます。→



3 「リクシルオーナーズクラブ」に会員登録をして製品情報を登録する

- ✍ 補足
- ご登録にはメールアドレスが必要になります。
 - 製造番号、品名、品番の入力が必要になります。
 - マイページから登録製品および延長保証書の確認ができます。

4 保証書に次の内容を記入する

- ・製造番号
- ・品名
- ・品番

■同梱の「オーナーズクラブ会員登録 兼 長期保証サービスお申込みハガキ」で登録する場合

1 オーナーズクラブ会員登録ハガキに必要事項を記入する

- ✍ 補足
- 記入もれがあると、登録できない場合があります。フリガナもご記入ください。
 - 取付日をご記入ください。
 - 電話番号は延長保証書が宛先不明で返送された際の確認などに必要です。

2 保証書に次の内容を記入する

- ・製造番号
- ・品名
- ・品番
- ・ハガキの郵送日

3 保証書は発送されません

- ✍ 補足
- ご登録には 1 ヶ月前後お時間をいただきます。
 - お問い合わせは「リクシルオーナーズクラブ窓口」までお願いいたします。
(※裏表紙)

個人情報のお取扱いについて

ご登録いただいたお客さまの情報は、次の目的に利用させていただきます。

- ・お客さまに対してダイレクトメール、電子メール等による情報（製品安全に関する大切なお知らせ、当社商品・サービスに関わる情報など）をご提供するため
- ・リクシルオーナーズクラブの特典やキャンペーン等で当選したプレゼントをお客さまにお届けするため
- ・商品やサービスについてお客さまの利用状況や満足度を調査するため

個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページ「プライバシーポリシー」をご参照ください。

仕様

✎ 補足 | ・ブレードの型番は「品番対応一覧」をご参照ください。(P. 14 ページ)

シリーズ名		KA シリーズ			
グレード		KA32A	KA32	KA31A	KA31
定格電源		AC100V 50/60Hz			
定格消費電力		392W		310W	
省エネ区分		貯湯式			
年間消費電力量 ※1		164kWh/ 年 (節電機能切時: 233kWh/ 年)	173kWh/ 年 (節電機能切時: 242kWh/ 年)	164kWh/ 年 (節電機能切時: 233kWh/ 年)	173kWh/ 年 (節電機能切時: 242kWh/ 年)
給水圧力	最低必要圧力	0.06MPa (流動時)			
	最高圧力	0.75MPa (静止時)			
使用温度範囲		0℃～40℃			
商品寸法		幅 421mm ×奥行 553mm ×高さ 160mm			
商品質量		約 3.8kg			
電源コード (電源接続方式)		有効長さ :1.0m (漏電保護機能、アースコード付)			
機能部	洗浄	給水方式	水道直結式		
		給湯方式 (タンク容量)	貯湯式 (0.76L)		
		おしり吐水量	0.34～0.68L/ 分 (6 段階調節) 供給水圧 0.2MPa のとき おしりターボ洗浄時: 1.00L/ 分 供給水圧 0.2MPa のとき		
		ビデ吐水量	0.38～0.65L/ 分 (6 段階調節) 供給水圧 0.2MPa のとき 水温・約 32℃～40℃ (計 6 段階切替)		
		温水温度	スーパー節電設定時: 水温・約 30℃～36℃ ワンタッチ節電 (8h) 設定時: 水温		
		ヒーター容量	250W		
		安全装置	温度ヒューズ・高温感知スイッチ・空焚検知回路		
	鉢内スプレー	噴霧量	30mL 供給水圧 0.2MPa のとき		
	温風乾燥	風量	0.30m ³ / 分	-	
		温風温度	室温・約 40℃～55℃ (計 3 段階切替)	-	
		ヒーター容量	340W	-	
		安全装置	温度ヒューズ	-	
	暖房便座	表面温度 ※2	室温・約 28℃～36℃ (計 6 段階切替) スーパー節電設定時: 室温・約 27℃～30℃ ワンタッチ節電 (8h) 設定時: 室温		
		ヒーター容量	45W		
		安全装置	温度ヒューズ		
脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式			
	脱臭能力	パワー脱臭時: 0.11m ³ / 分 フルパワー脱臭時: 0.14m ³ / 分 ターボ脱臭時: 0.17m ³ / 分			
リモコン	壁リモコン	寸法	幅 263mm ×奥行 34mm ×高さ 73mm		
		電源	単三アルカリ乾電池: 2 本		
		通信方式	赤外線式		

※1: 省エネ法 (2012 年度基準) に基づいた測定値。

※2: 省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としております。

使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。

トイレを使用しない時は便フタを閉じておくこと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。

■上記の各数値は一定の条件下によるもので、使用環境条件等により異なる場合があります。

機能 / 性能について

KILAMIC 抗菌商品について

KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜などが表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。

また、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染などが防げるわけではありません。

抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。

KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会 (SIAA) の推進によって抗菌 JIS 規格 (JISZ2801) から ISO 規格 (ISO22196) になりました。

キレイ便座について

キレイ便座は、汚れのたまりやすい便座のつなぎ目をなくした、お掃除のしやすい便座です。

スローダウン便座について

便座がゆっくり閉まって、閉まる時の音を低減します。

著作権など

本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

なお本文中では ™、® マーク表記については一部記載していません。

修理・お取扱いのご相談

次の流れで、順にご確認・お問い合わせください。

1 本冊の「よくあるお問い合わせ」(P. 51 ページ)を確認する

故障ではない場合や、お客さまご自身で解決できる場合があります。

2 改善しない場合は、お求めの取扱店に相談する

お買い上げ時に次の内容を記入しておく、修理対応がスムーズです。

トイレ シリーズ名・品番		ご購入年月日	
取扱店名		取扱店電話番号	

お取扱店がわからない、ご連絡できない場合は、LIXIL のお客さま窓口へお問い合わせください。

お客さま窓口

インターネットからのお問い合わせ

LIXIL 公式ホームページ お客さまサポート <https://www.lixil.co.jp/support/>

LIXIL お客さまサポート

検索

ご利用できるコンテンツ

● メールでのお問い合わせ ● WEB 修理受付 ● WEB パーツ販売 (※) ● Q&A ● 所有者登録 ● 長期保証サービス ● お手入れ動画

商品のお問い合わせ

お客さま相談センター

受付時間：平日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 (ゴールデンウィーク・夏季休暇・年末年始休み)

TEL  0120-179-400 または TEL 0562-40-4050

FAX  0120-179-430 または FAX 0562-40-4053

修理・点検のご依頼

製品品番がご不明な場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXIL 修理受付センター

受付時間：平日 9:00～19:00

TEL  0120-179-411

FAX  0120-179-456

WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

所有者登録・延長保証のお問い合わせ

リクシルオーナーズクラブ窓口

受付時間：9:00～17:00 (土日・祝日除く)

TEL  0120-417-701

別売品のご購入

部品の特定をご希望の場合は、お客さま相談センターへお問い合わせください。

LIXILストア [水まわり部品販売]

受付時間：平日 9:00～17:00 (土日祝日・ゴールデンウィーク・夏季休暇・年末年始休み)

TEL  0120-126-015

※LIXILストアは、お客さまご自身でお取換えできる部品を宅配サービスにて取扱いする窓口です。
お取換え作業時に特別な資格、技術が必要なものや、安全性に関わる部品は取扱っていません。

WEBサイトからの購入はこちら

※24時間購入可能



LIXILストア

検索

<https://store.lixil.co.jp/>

個人情報のお取扱いについて

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。

個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/>

GCW-1468(26010)